京城日報

廿四日夕刊

發行所　京城太平通一丁目　合資會社　京城日報社
發行兼編輯人　奧田直毅
印刷人　小川三之介

日本海軍活動

地中海に於て艇禍を蒙れる英兵一千餘名を救助す

英國新聞局の發表と共に英國諸新聞は一齊に運送船カリロア號が地中海に於て敵潛水艇の爲めに撃沈されたる際日本驅逐艦が勇敢沈著に同船乘組兵士一千餘名を救助したる顚末を記載し盛んに日本に向つて感謝の意を表しつゝあり同船は陸兵及び看護婦約二千名を搭載し居りしが其中百餘名の行方不明者を出せりと（倫敦電報）

我海軍當局の公表

右に關聯し廿四日舞鶴海軍鎭守府當局より左の如く發表ありたり（東京特電）

對獨開戰以來帝國海軍は東洋方面の作戰及び通信保護の爲め常に英國海軍と協同動作を執り夙に東洋所在の敵國艦船を掃攘し更に又た英國政府の要望をも斟酌して數隻の巡洋驅逐艦を海峽植民地並に印度洋方面に配し以て協同作戰の目的を遂せん事を期したり現に小栗司令官の率ひたる一隊此任に當り南北印度洋に亘て策動す尙兩國政府は戰局の推移に伴ひて隨意機宜の協議を遂げ各々其部署を定めて相策應し最近佐藤司令官の率ゐる一隊は遠く地中海に赴援して同方面の協同作戰に從事し又山地司令官の率ゐる一隊は目下南太平洋方面に行動しつゝある等帝國海軍は常に其最善の手段を盡して聯合各國の海上作戰を幫助するに努力しつゝあり

支那の形勢

段氏黎總統を訪問

後繼者の内示を求む

段總理は二十二日參謀總長王士珍氏と會商の後黎總統を訪ひ總理の後任に擬せらるゝ人物の内示を求め其上にて總統の爲めに己の所見を開陳し參考に供すべしと告げたり（北京特電）

段總理免職

伍廷芳氏總理代理

二十三日午後二時段祺瑞氏は愈免職され伍廷芳氏國務總理代理を命ぜらる（北京特電）

段氏免官を認めず

罷免されたる段氏は各省に宛て〻余は余に對する免官の命令を認むる能はずと打電せり（北京電報）

▲免官となりたる段氏は二十三日夜顯然として天津に去れり（北京電報）

兩督軍大いに辯す

吉林督軍孟恩遠山東督軍張懷芝兩氏は黎總統と二十三日午餐を共にしたる後時局を議したるが其際兩氏は各督軍の意見なりとして代辯して曰く「議會は内閣が國政を執る力量なしと論ずれども吾等は國會こそ不適任なりと思惟す其證據には國會は開會以來既に十日に及べども其議了して法律となれるは國葬令と憲法改訂說質合との二件に過ぎず故に吾等督軍は議會が政權を簒奪せんとする企擧には斷然反對し總統が其總理の地位若くは議會解散に關する憲法案の或條項改正を保防せる請願に就ては特に注意されん事を乞ふ」と（北京電報）

露國の戰爭目的拋棄

露國政府は聯合各國に對し從來契約せられありし戰爭目的の改訂に關する協議を進めつゝあるが此際露國政府は露國の新目標たる非占領非賠償の主義を一般に聲明し且つ露國は單獨講和を欲せざるも而も從來支持し來りし戰爭の目的は拋棄せざるを得ざる旨宣言す可し（露都電報）

櫻井稅關長　歸鮮

仁川稅關長櫻井小一氏は二十四日午前八時半釜山著直に歸任の途に就けり（釜山特電）

海老名氏來鮮

海老名彈正氏は二十四日午前八時半釜山著直に大邱へ向へり（釜山特電）

原田、濱岡兩氏通過

同志社大學校長原田助氏及京都商業會議所會頭濱岡光哲氏は廿四日朝釜山發高麗丸にて京都へ向へり（釜山特電）

飯泉鮮銀課長

朝鮮銀行國庫課長飯泉幹太氏は二十四日新羅丸にて釜山著十時半發列車にて京城へ向へり（釜山特電）

葡萄王來鮮

米國にて葡萄王として知られたる長澤鼎氏二十四日午前八時半新羅丸にて釜山著直ちに京城へ向へり（釜山特電）

牟田口瓦電社長

朝鮮瓦斯電氣會社長牟田口元學氏二十四日朝釜山に來著せり（釜山特電）

濟寧銀行計畫

山東省濟寧府管轄二縣内は竹麻、牛骨、牛皮、穀類の物産に富み又津浦支線に依る江蘇、浙江方面よりの輸入亦莫大にして省中有數の商業區なるを以て這般該方面の支那商等は資本金百萬元の銀行を創設す可く目下準備中なり（濟南）

章氏急遽歸國

駐日章公使は某緊要事件に關し親しく段總理に面會の上陳述する爲め急遽出發歸國する旨北京政府に電報し來れりと（北京）

第四革命警戒

北京の現在政局は最も危險なる狀態にありて其收拾策如何は内外の齊しく注目しつゝある處なるが北京政府は二十三日突然張督軍に對し政局の前途測知すべからず或は第四革命勃發の虞あるに付極力警戒すべしと電報を以て警告したり（北京）

渤海漁業有望

秦皇島を距る十哩の渤海公海は鯛、鰹及び鯖の棲息する事實に夥しく殊に熊岳城沖の如き其盛漁期は僅に三週間内外に過ぎざるも春季より秋季まで絕へず漁獲あり鰹漁は其最なる者にて實に有數の最好漁場と云ふべく大連よりは年々我漁船の出漁少なからざるも大連又は旅順の根據地に歸還するに數日子を要するを以て遂に之れを大連より奥地に輸送する時は其腐敗を招くの虞れあり頗る遺憾に堪へざりしが這般奉天市場會社は漁業の根據を秦皇島に置きて該方面に於ける豐富なる漁獲物は凡て秦皇島より滿洲に輸送するの計畫を立てたるが之れに依る時は從來大連よりする者に比し其半數の日子にて沿線各地に到著す可く滿洲各地は多大の利便に浴し得る譯なり同社は已に漁船三十隻を秦皇島に廻送し漁業著手の準備中なりと（奉天）

軍團隊長會議

駐箚軍司令部に於ける軍直屬團隊長會議の第二日は午前九時より司令部會議室に開會秋山司令官以下幕僚團隊長其他列席午前宇木獸醫部長の口演並に事務打合せにて日程を終り午後は隨意各方面の見學をなせり

向露小包停滯

大口物の引受は謝絶

本邦より發送する露國行き小包郵便は時局以來激增せしため依然として停滯多く現に長春郵便局に滯り居るもの約三萬個を算し遞信省管内のもの十數萬の多數に達し居るため當局にては先約内外は大口物の新たなる引受けを謝絶し普通小口物の受託を受けつゝあるも尙ほ今日の所内地に於て一日の引受八百個を下らず而して朝鮮滿洲北支那を合し二百五十内外合計一千零五十個に及びつゝあり然も東清鐵道の小包輸送力は一日一千個と限りあるに付現在の所にても日々五十内外の新たなる停滯を見つゝあり之れ鐵道による普通貨物輸送力の著しく減せられし結果小包により商品の露國仕向を行はんとするにある如く在中品は米茶生糸諸雜貨等なる由何は停滯右の如く輸送は受附順に之れを行ふ事となり居るに付其日數は露都迄六七十日以上を要するものと見ざる可からず從つて腐敗の虞れある品物を郵送せんとする如きは禁物と云ふべく當局にては此の停滯小包の疏通に付一方ならざる苦心を致しつゝある由なれども露國鐵道運輸力が現在の如く局限せられては如何ともする能はずと云ふ

御慰問使出發

内山侍從武官長は既記の如く二十四日朝南大門驛發汽車にて退京途に就けり、同驛には秋山軍司令官以下陸軍側の主なる將校、總督府側よりは秋山參事官、小原長官、高橋武官其の他多數の見送りありたり

渡邊武官通過

渡邊侍從武官は二十三日午後九時四十分同驛發汽車にて京城通過滿洲に向へるが同武官は今回滿洲に於て擧行さるべき參謀旅行視察の爲め特に陛下より御差遣相成りしものなりと

リ中佐動靜

日本駐在英國大使館附武官ソマビール中佐は二十四日入京の筈なりしも都合に依り二十五日午後九時南大門驛著入京の事となれり、隨つて爾後の豫定に多少變更を來し二十六日は龍山步兵、騎兵、砲兵各隊を二十七日は朝鮮步兵隊及び京城市中を視察し二十八日元山に赴き其れより羅南、會寧を經て六月七日京城に歸還同日夜行にて平壤に向ひ順次滿洲方面を視察の筈なり

▲總督の招待　長谷川總督は二十六日團隊長會議列席者を龍山官邸に招待の旨は既記の通りなるが同時にソマビール中佐をも招待の事に決せり

加藤局長來去

關東都督府通信管理局長加藤順次郎氏は事務打合のため二十二日來京總督府及び遞信局を訪問中なりしが廿三日午後九時十分南大門驛發列車にて北行歸任したり

平岩博士入京

日本メソヂスト敎會監督平岩愃保博士は廿四日朝入京旭町藤岡牧師宅に入れるが同夜は旭町二丁目同敎派の敎會堂にて支那漫遊視察談を爲す可く一般の來聽を歡迎する由

間島視察團下仁

入京中の間島鮮人視察團は京城に於ける見學を了し一行七十名廿四日朝南大門驛發列車にて下仁視察の途に就け永登浦にて一時下車同地を視察し十二時二十分列車にて仁川に至り午後八時五十分時仁川發列車にて歸京す

議員選擧と取締

宮舘本町署長談

六月九日に執行さるゝ京城の學校組合議員選擧取締りに付宮舘本町警察署長は語つて曰く朝鮮には選擧取締規則はないが舊刑法第四條に「賄賂を以て投票をなさしめ又は賄賂を受けて投票をなしたるものは二箇月以上二年以下の輕禁錮に處し三圓以上三十圓以下の罰金を附加す」といふ條文が炳乎として存してゐる賄賂と言ふことは解釋の仕方では隨分廣くなるものであるが世上動もすれば朝鮮の公選投票は何も取締令が無いから勝手なことをしても差間へ無いと思ふ者があるのは飛んだ誤解である賄賂を贈つて迄も投票されやうと言ふやうな人物は無論公職に就くべき資格は無い學校組合議員の選擧に就いても左樣な陋劣な候補者は京城を初め朝鮮には無論無いことゝ信じて居る又警察としては特に取締をどう云ふ風にやらうと云ふ樣なことは考へて居ないが併し大體に於ける運動者の行動は漏なく判つて居るから萬一にも前述のやうな卑劣な人があつたなら斷乎たる措置を執るのは勿論である云々

家屋稅指定納期

京城府は大正六年度第一期家屋稅の法定納期は本月末日限りなるも府の指定納期は來る二十五日限りなれば納稅者は此際至急納入せらるべく指定納期を經過すれば府當局は直ちに督促狀の送達に著手し法定納期を經過せば滯納處分に取り掛る豫定なりと

東亞煙草擴張

東亞煙草會社は營口に製煙工場を有し居れるが近來の活況に對し常に供給不足の憾あるを免かれず新たに天津に製煙工場を新設するに決定したるが愈々日租界に數千坪の土地を買入れ近く建築に著手する事となれり

鮮銀臨時總會通知

增資附議の鮮銀臨時總會は六月八日開會の事となり居るが鮮銀にては廿四日株主に對し總會召集の通知を發せり

魚允中追悼會

今回間島視察團の來京を機とし侯爵朴泳孝、伯爵李完用、子爵金允植、同趙重應、本社長阿部充家諸氏の發起にて間島に緣故深かりし故西北經略使忠肅公魚允中氏の追悼會を二十四日午後九時より蓉松洞覺皇寺に於て修行する筈にて入京中の間島視察團一行の參拜ある由

平壤法院長著任

前田平壤地方法院長は二十三日午後三時四十分著列車にて著任停車場には法院及道廳其他民間の重なる者新聞記者等多數の出迎ありたり因に氏は直に法院長官舍に入れり（平壤）

御眞影奉迎

大田步兵第七十九聯隊長富塚眞一郎氏は目下龍山に於て開催中なる團隊長會議に列席中にて來る二十六日頃歸任の筈なるが當日は軍司令部にて同聯隊に奉安すべき御眞影を拜戴して歸任の筈なれば同隊將校一同は多分停車場まで御出迎へをなすべしと因みに時間は未定なるも多く午後零時二十七分著列車なるべし（大田）

大阪より

▲鮮航運賃引上　郵船商船尼ヶ崎三汽船の協定航海を續け居れる朝鮮航路は鮮鐵との關係あり他の航路とは大に趣を異にし居れども貨物に由り運賃の高下平衡を失せる嫌ひあるより此際鮮鐵運賃率を標準とし運賃を整理引上げんとするの議あり目下協議を重ね居れるが郵商兩社の間に意見の相違する點あり未だ纏まらざるも根本に於て異議なければ近く確定を見るべしと

▲尼攝兩紡合併　尼崎攝津兩紡績會社合併說は某氏の斡旋に依り數日來急速に進捗し兩社重役は去る十九日某所に會同意見交換の結果兩社重役より各三名の委員を選定し右委員は兩社重役より合併に關する一切の委任を受け近々某所に兩社の委員會合の上合併條件を討議し具體的の決定を圖るべく尤も其確定迄には尙幾回かの折衝を要するならんも既に根本方針の決定せることゝて存外早く纏まるならんかと而して愈々合併成立の曉は社名を全然何れにも偏せざるものに改稱の筈なりと

▲板紙輸出激增　對南洋輸入の板紙は獨英和等合計約百三十萬噸にして就中和蘭の六十五萬噸を以て最多とせるが戰亂と共に輸入激減し之れが補充は勢我國に仰がざるべからず近く南洋向き注文の著しく增加せるも我國製造能力は約六萬噸内外に過ぎず然るに對紙國業者一箇年消費高は約五萬噸弱なるを以て輸出可能量は僅に一萬餘噸に過ぎず而して西成、岡山、九州各社は全部輸出にして他會社と雖も好況と共に輸出を試むるに至りたるを以て假に品拂底を來し板紙業者は昨秋來數回の値上げを決行し目下輸出六十圓内地卸賣七十七八圓を唱へ一昨年最不況時に比し十二割餘の上騰を示し居れり

▲商船新造船工程　大阪商船にては長崎三菱造船所に九千五百噸型の汽船四隻の建造方を注文し居れるが中二艘分の材料は大半入著し殘品も七月中には全部到著すべきを以て直に建造に著手すべく豫定通り來年一月中には二艘共竣工すべき見込なりと（大阪支局）

□鹿峰氏の送別雅筵

總督府囑託を辭し歸東せんとする鹿峰千葉昌胤氏の送別宴を二十三日夜千代本に於て開催來り會するものは國分長官（三亥）渡邊法院長、秋山參事官、國分次官（象太郎）草場金台、鮎貝槐園、阿部無佛の諸氏を始め朝鮮人側よりは呂圭亨、鄭萬朝、鄭丙朝、安中植、徐相勛、朴承稷の諸氏其他數十名にして國分長官の別辭千葉氏の謝辭あり實に詩文の應唱頻に雅會は更に興を添へ心田安中植氏は忽ち雅箋を延べて得意の毫をなし金台草場氏興に乘じて之に贊する等雅興萬斛三更に及びて散會せり當夜の雅作左の如し

留別　鹿峰　千葉胤昌
春光如夢緣如烟。鹽落京城恍十年。臨別更深知己感。壯吾行色有斯筵。

次留別韻　金台　草場謹三郎
手弄湖毫染徽墨。文時交際可忘年。一杯一詠長今夕。雅興何妨續綺筵。

同上　荷亭　呂圭亨
落光落紙是雲烟。爲寫鹿峰東去年。酧悵吟千代本。年々歲々記茲筵。

同上　茂亭　鄭萬朝
漢亭旅食慣風烟。游宦龍種難殊年。余八歲園留舘。此日那堪有別筵。

同上　初園　徐相勛
商柳棲鷄帶晚烟。紅亭綠酒日如年。歌還舞罷餘事。却恨數場是別筵。

同上　葵園　鄭丙朝
扶桑萬里弄雲烟。兇我衰非賦別年。戴稠繆同舍感。最銷魂是送君筵。

同上　心田　安仲植
芸窓相對寫雲烟。白首淸緣既十年。夕酬歌異率會。誰知訣作唱驪筵。

送鹿峰氏歸東　漸庵　國分三亥
訴退既飲烏角巾。風花雪月樂天眞。雖有白雲滿爲贈。都門名利人。

同上　金台　草場謹三郎
盛君廿作鐵嘗鶴。咀嚼古今藏腹中。夜天宮傳古占。文星忽見五雲東。

地方通信　大田

▲軍人分會運動會　既報の如く大田在鄕軍人分會は二十七日午前九時より市外中學校豫定地に於て春期運動會を開催する筈にして各部署を定め目下準備中なるが當日の主なる運動競技は擊劍、銃槍、柔道、角力、徒步競爭、障碍競爭及び綱引等にして當日雨天の際は六月三日に延期すべし▲校舍修繕落成　大田尋常高等小學校校舍の大修繕工事は去る二十日略ぼ落成に付二十一日より敎授を開始し尙ほ目下瓦葺中なり▲海軍記念日講演　來る二十七日は海軍記念日に相當するを以て大田尋常高等小學校に於て記念講演會を開催する筈▲大田校の遠足　大田尋常高等小學校の尋常六年以上の生徒は本月中職員に引率せられ雞龍山へ一泊の豫定にて遠足を試むべく目下其の筋へ認可申請中なり▲行路病者收容所　今般官報を以て行路病者收容所設立に關し設備費及び經常費の一部を補助せらるゝ事となりたる由なるが在大田の各宗寺院布敎所主任は收容所設立に關する第一回打合會を二十二日夜西本願寺に於て開會し郡廳よりは田中第一課長列席協議を凝らしたるが未だ具體的の成案を見るに至らざりしを以て更らに近々第二の會合を見るに至るべし▲スタ博士豫定變更　朝鮮各地を視察中なるスタール博士の一行は二十二日午後○時二十五分著列車にて大田に下車直ちに雞龍山視察の筈なりしが道路の距離に多少の思惑違ひありしやにて大田に下車せず金泉に向つて通過せり不日一應京城に引き返し改めて雞龍山行を試むべしと

人事消息

▲松永武吉氏（京畿道長官）　廿四日午前仁川へ
▲李載克男爵　二十三日午後天安へ
▲米國領事（京城駐在）　二十三日午後仁川より歸京
▲久保田穰藏氏（鮮銀理事）　二十三日夜入京不知火へ
▲ミッチエルロバート夫人（鑛業家）　二十四日朝入京朝鮮ホテルへ
▲市川少將（平壤第三十九旅團長）　二十四日夜入京巴城館へ投宿の筈
▲岩田衞氏（奈良縣内務部長）　二十四日朝退京
▲久我鵜藏氏（朝鮮銀行安東支店長）　二十四日夜入京不知火旅館へ投宿の筈
▲中里彌氏（李王職典祀）　稱王阿三法師祭儀執行の爲め二十四日朝咸南安邊郡に出張
▲鷲鉦次郎氏（新任大邱覆審法院檢事長）　二十四日午前八時半南大門驛發列車にて任地に出發したり

大相撲總評

■二横綱を倒した 殊勳の大鳴門 錦島の復活 好力士千葉ケ崎 大戸平敷島石山

味方の堅壘を固むべき太刀風の二巨星に休場されて連日惡戰苦闘しつゝ遂ひに矢盡き刀折れて城下の盟ひを餘儀なくされた東方にあつて最善を盡して健闘したのは大鳴門、千葉ケ崎、錦島、黒瀬川、大戸平であつた、殊に大鳴門に至つては其の最も得意とする

▲上突張りの 强襲に敵の心膽を寒からしむる事多く五勝二敗の成績中特に目立つのは西の海を敗り連戰連勝の大錦に黒星を印せしめた事であつた、來場所に横たはる關脇の榮位も此れあるがためと謂ふべきであらう、然かも彼は瘋疾肋膜さへ無くば今日を待たずして已に三役となり大關の位に就くべかりしものであつたのである、但し今場所の相撲振りに見るも明であるが四ツ相撲の堅實を缺ぐ事が彼にとつては何よりの苦痛で小冠者若木山對馬洋と惜しい相撲を

▲ツブ預りに され、大潮、九州山に敗れたのも皆四ツに互つての寄り負けであつた、彼はいかにしても放れて突張るの長所を發揮すると共に頁に四ツ身の研究を積む事を忘れてはならぬ、千葉ケ崎は場所を重ねるに隨がつて益々圓熟し來り堂々たる相撲振りを見せた放れてよく組んでよく機に臨んで變化も早く立合の呼吸もよし體格力量共に兼ね備へた好力士、今場所大錦、栃木山、九州山の出羽の海部屋三羽烏のために止めを刺されたといふのもその原因の分子は

▲實力の相違 といふよりも寧ろ氣後れがした方が多かつたらしい、九州に右を差され、大錦に左を差され、栃木に双差しの利勢を取られ筈に押切られた如きは皆立合負けのしたる證據で、相撲に出ら所があるとも言へる、然しその相撲振は鮮かなもので立派な役力士、來場所には小結に入るであらう、黒潮川は比較的元氣ではあつたが敵の猛將勇卒のために壓迫を受くる事多日迄に五分の成績に終つて二三枚上べるのは已むを得まい、栓を抜けば半ば沸騰放散して終ふ

▲ラムネ瓶に も似た快力士眞砂石は、前場所の好成績に得た小結も可惜病氣のために連戰連敗の悲運に終つたが彼が生氣横溢の武者振りを一日も十俵に缺かさなかつた努力は買つて遣らねばなるまい、敦島、大戸平、紅葉川、石山等は善く闘ひ殊に大戸平の如き敦島の如きその元氣寧ろべからざるものがあり不振な東軍のために氣を吐く事が多かつたが場所運に祟られたとでもいふものか、思ふやうに働けなかつたのは殘念であるが之れに反して鈍州

▲錦島の復活 東方最負のために快哉を叫ばしめた事が少なくないだらう、此の場所の取口を見るに鈍州何時までも鈍州に終らざるを認むるの曙光を得た、三敗七勝の好成績に氣を直して踴躍奮勵相撲の妙味を體得すべきである、中途より休場の鳳は評の限りに非ず、旗色惡き味方の前後を固めて連日奮戰した伊勢の濱朝潮の功は多とする、殊に伊勢の如き吾々の所謂好力士に對してその成績を顧みて加評するが如きは酷である、その他は評に及ばず雖若島、藤の川、鳴門洋、鶴渡り等が幕下に落ちるのは東方のために慶すべき事であらうと言つておく（かはり）

又も米澤市外に大火 千餘戸燒失＝長井町全滅？

米澤市外長井町に二十三日午後八時出火あり同地は米澤琉球絣の本場にて戸數千餘戸なるも其地の消防隊は米澤市の火災應援の爲め米澤に全部出動せし後とて消火の方法つかず殆ど全滅せり（東京電話）

露國陸海相 奇禍を遁る

露國新任陸海軍大臣ケレンスキー氏は反對黨の爲め殺害せられんとして危く難を遁れたり（紐育電報）

又復兜町に 僞電事件

東京兜町に又復僞電事件起り仲買人及び某新聞記者等取調べを受けたり（東京電報）

狂犬撲滅 警務部にて實行方法協議

京城市中には昨今狂犬數出し其の被害少からざるより之れが撲滅の必要あり二十四日午後一時より京畿道警務部に於て府內各駐署長及び各駐署の衛生主任等召集し限部警務部長統裁にて實行方法に就き協議する所ありたり

黄海丸 浸水四尺 近く引卸に著手

注文津神に坐礁せる黄海丸は廿四日來明迄に郵便物及び船客七十餘名の陸揚げを了へ大豆、乾鰯、米七千餘個の內一千餘個を二十三日迄に陸揚げせり船體は陸より沖に向け坐礁浸水四尺に達す元山より江原丸にて工作人夫十數名赴き長箭附近よりは全羅丸の作業員向へり下關より工作船魁丸到着引卸に著手する筈（元山特電）

配達夫の逃亡

成北城津郵便所配達夫[illegible]朴鳳贊(二)は清津郵便[illegible]逃走[illegible]より清津[illegible]にて犯人搜索中の所此程明島に[illegible]逮捕されたり同人[illegible]乃至一圓五十錢の爲替取組[illegible]となり巡査の來りたるにも氣附かず夢中になつて看牌と稱する賭博を開[illegible]

米澤大火々元判明す 署長の進退伺

米澤市大火の火元は米澤警察署詰刑事高橋某の妻のぶがランプを轉覆したる爲めにしてのぶは自首し出でたるが發狂の氣味あり又米澤警察署長は責任を負ふ爲め進退伺を提出せり（東京電報）

病を苦にして 劇藥自殺

二十三日午後六時頃京城本町四丁目七十九番地の溫突一間に居住せる大分縣北海部郡佐賀關町生れの元娼妓上田まさ(三四)が洗滌用のリゾール十瓦許りを仰ぎ自殺を企て苦悶中を雇人なる鮮童(一七)が發見し直ちに附近の松本醫師を迎へて應急手當を加へしが頗る重態にて生命覺束なかるべしとまさは一昨年中新町遊廓巴樓事森田とし方に抱へられ娼妓稼業中肺結核に罹りて已むなく本年三月十六日廢業したるも親戚知人等もなき儘樓主が前記の所に溫突一間を借り入れて之れに起臥させ鮮童一名を看護人として附添はせ置きたるが近來非常に衰弱したるより頭日內地へ歸國せしめんと樓主よりまさの郷里に照會したるに國許には引取方を照會したるに國許には六十歲餘の老婆一人限りにて扶養し兼ぬるより樓主にて保護し呉れるやう依賴する旨の返信ありたるを聞き全く病氣と貧窮とを悲觀したる末途に覺悟の自殺を企てしものならんと

元山港開記念日 マラソン競爭盛況

元山港開港記念日のマラソン競爭二十三日擧行されたるが稀に見るの盛況にて人出一萬以上に及べり（元山特電）

血染めの遺書と和歌を認めて 遊廓で三度び自殺を企てた男

二十四日午前六時頃京城新町遊廓一二三樓事吉川とよ方第一號室なる抱娼妓やつこ事荒川つる(二八)の居室にて自殺を企てたる男あり山形縣北村上郡東郷村生れ京城大和町二丁目居住の奥山吉二郎(三十)といひ同日午前二時頃登樓しやつこを敵娼として就寢したるが吉二郎の

▲苦悶の聲に 驚きて目醒めたるやつこが枕下を見るに白鞘の短刀一口あり直ちに之れを拾ひ上げんとしたるに吉二郎は手早く之れを奪ひ取るや振く手も見せず刀渡り四寸位の鋭利なる短刀を左胸部に突き立てたるよりやつこは辛くも捥ぎ取りたるに吉二郎は又も持合はせたる豆絞りの手拭を首に捲きつけて悶絶せんと焦り居る處へやつこの叫び聲を聞いて家人等が駈付け大騷ぎとなり一方

▲急報に接し 本町警察署より係官警察醫出張檢視せしが口腔に糜爛して言語發せず取調べの結果傍らに硫酸らしき劇藥の殘りある一瓶あり察するに同人は最初件の劇藥を仰ぎて自殺を企てたるも果さざるより次に短刀を以て果さんとせしも防止されて及ばず三度び手拭にて絞死せんとしたるも遂に目的を達するに至らざりしものゝ如く應急手當を加へ目下加療中なるが生命には多分異狀なかるべしと吉二郎は

▲昨年十二月 初旬初めて一二三樓に登樓し同樓抱娼妓小笑事兵庫縣明石郡大倉谷村生れの山田きぬ(三)と馴染となりたる以來深き仲となり今日迄前後十九回登樓し約百五十圓位を遊興し同夜も小笑を呼びたるが生憎休業中なるより已むなく瞬室なるやつこを敵娼として同衾し遂に此の始末に及びたる由にて尚開く所に依れば吉二郎は同夜左の腕を斬り血書せる二通の遺書を認めたるが一通には『あゝ此の世はなせ儘ならぬだらう、自分には妻子あり

▲小笑は夫 ある身迚も同様の望みなし、死んで彼の世で暮しませう』との意味を記しありし由既に落籍の約束迄なしたることもありしも小笑が本夫ある身なることを自白したるより初めて添れぬ仲なることを覺り全く悲觀したる末途に獨心中を企てしものゝ如く尚一通には仲居樓主等に罪を謝する旨認めたる和歌らしき辭世の一句ありたりと

脫營兵逮捕

大田步兵第七十九聯隊第一中隊二等卒田中正登は本月十九日脫營逃走し姿を晦ましたるより鮮內各地官憲に手配搜索中二十二日京城にて逮捕されたりと

爆發藥で自殺

山口縣玖珂郡本郷村河野松平妻よし(四)は二十三日精神に異狀を來しダイナマイトを口に咬へ導火線に火を點じ無慘の最後を遂げたり（大阪特電）

鮮滿急行延發

鮮滿急行列車は露國列車接續のため長春驛を約七時間延發せり途中多少取返し得るも京城へは五、六時間の延著は免れ得ざる可しと

鮮銀運動會

鮮銀の運動會は來る二十七日龍山に於て擧行の筈なりしが都合により北部蕃會洞紫雲亭に變更したり尚ほ當日は行員三百餘名の外家族も參會の筈にて總員一千餘名の多數に上るべしと

露西亞物語

▽不安心な▲ 不換紙幣

■物質の暴騰も市場に與へる不安が因 ■い『極東銀貨』 鮮銀切手の代用＝飛んだ損失＝硬貨は全く無

露都では物價が非常に高い代りに金の多い事も亦驚くほどある勞働者でも一日働けば二ルーブル位から八留位までに成るしかし通貨は相變らず紙幣ばかりで

■硬貨は目藥 に爲たくても無い位である其の紙幣の不換紙幣であるから轉々して居る間にはズタ〳〵に成つて終ふ餘り破れたものは相手が受付けて呉れぬそうなればまるでお錢が穢ない

■紙屑同様に 成つて何處でも正貨に引換へて呉れぬ實に不信用も不安極まる通貨と云はなければならぬ物價の暴騰も要するに斯うした不換紙幣が市場に與へる不安が其原因の一つに成つて居る事は云ふまでもない露國には從來のルーブル

■紙幣の外に 開戰以來補助貨として銅貨に代るべき一、二、三、五及び五十の五種のコペーク紙幣と別に十、十五、二十の三種のコペーク切手が發行された此のコペーク切手は戰爭前の郵便切手の裏面に銀貨の代りとして表記の金額の通りに通用する旨を印刷してあるだけだこの

■銀貨切手が 又紛失したり汚れ易くて甚だ使用者を困らしめて居る表面の書の汚れたものは最早何處へ行つても受取られから受取る時に注意して新らしいものを取つて置かねと飛んだ損失を招く商人の方では又新らしい方を受け取つて成るべく古いものを人に渡そうとするから馴れない

■旅客などは 甚だ迷惑を爲す馬車などへ乘つて賃金の剩錢などを取ると往々汚れて使へなく成つた切手を渡されて閉口する事があるこんな有様だから銅貨でも銀貨でも手に這入つたが最後どうしても出さない夫れ故露都では硬貨は影も形も見せない日本の造幣局で露國から

■委囑を受けて 製造した新らしい五十哥の銀貨が時々廻つて來るが露國人の間には『極東銀貨』と稱して甚だ珍重されて居る日本製の銀貨には表面の双頭鷲の下にB、Cの二字が入れてある

露國の貨幣

本舗 大阪西横堀 三宅堂

讀者文藝（一等に五十錢 三等以下に賞券を呈す）

▼物は付『擴がるものは』

〇李獨各國の宣戰(一等) 龍山 穴居士

▲流行 京城 二 正

▲流行歌 京城 鷗 涯

▲竹の根 京城 春 ） 晤

▲山火事 龍山 朴 念 仁

▲選擧違犯檢擧(先著) 京城 岸 孫舟

灯ともし頃

柳絮散るとき花滿城、このころの京城は到るところ花ばかりとなつた▲牡丹では昌德宮仁政殿の庭から倭城臺の總督官邸、それに金谷府尹の庭もきれいに咲いた▲府尹の宅のは何んでも明治廿九年頃時の秋月領事が植ゑつけたもので當時は每春庭一面の牡丹をみつゝ京城の外交團一同を招待したものだ相な▲花には紅色、鴇色、純白等いろ〳〵あつてこのごろが一番見頃である▲篆刻家の大石南山君はこのごろ昌德宮博物館につめきりで頻りに『昌慶園』の大看板を彫つてゐる▲板木は一丈あまりの欅の大木で文字は閔長官の筆になるといふ

懸賞問題及び募集規定

▲募集規程 ▲用紙は端書又は同形の洋紙一枚毎に紙上の雅號又は氏名の外に住所氏名明記の事▲[illegible]一週間後に發表[illegible]

天氣

晴れ一時曇り

五月廿五日（廿四日午後六時迄[illegible]）

潮 仁川 [illegible]

商況

債券現物特電（東京二十四日出來値）

銘柄	値
東洋拓殖	七〇、〇〇
京城電氣	―
朝鮮銀行	―
朝鮮瓦斯	―
南滿鐵道	―

公債直取引（東京電話）二十四日出來値

銘柄	値
五分利特別	九七、九〇
五分利甲號	―
四分利	―
一回四分	―
二回四分	―
甲號五分	九七、七〇

深川在米特電（二十四日現在高）

種類	數量
鮮米	一六一、九六七
地米	五四、四八九
內地米	一、六九五、七一九

東京期米特電（廿四日前場）

	五月限
寄付	九九、八三
高値	九九、九五
安値	九九、七〇
止め	九八、八〇

大阪株式

種類	拂込額	二十三日後場 前場
宇治川水	五〇、〇〇	―
京阪電鐵	五〇、〇〇	―
東洋紡績	五〇、〇〇	―
合同紡績	五〇、〇〇	八五、三〇
鐘淵紡績	五〇、〇〇	[illegible]
同上新株	[illegible]	[illegible]
東洋汽船	[illegible]	[illegible]
大阪商船	[illegible]	[illegible]
日本郵船	[illegible]	[illegible]
同上新株	[illegible]	[illegible]
堂島米穀	[illegible]	[illegible]
東京新株	[illegible]	[illegible]
大阪株式	[illegible]	[illegible]

大阪三品特電

綿布先物七圓六十五錢

限月	廿四日前場 寄付
五月限	三三四、二〇
六月限	―
七月限	―
八月限	―
九月限	―
十月限	三三二、九五

止め

大阪期米特電

限月	二十三日前場
十月限	三三、九五

下關期米特電（廿四日前場）

	當限	中限	先限
寄付	一八、六一	一八、六〇	一八、六〇
高値	一九、〇五	一八、六五	一八、七七
安値	一九、六三	一八、六五	一八、七七
止め	―	―	―

雜報

鐵材は沈靜

高値の爲め買控

需要は市場は頗る沈靜にして丸棒類外國の新入荷と共に相場多少は引緩みたる模樣なるも外價は頻りに高報を告げ平和の懸念も加はりたる折柄とて新規外注も進むの形氣なく從つて市場は從來の在荷と僅少なる約定品のみに依るの外なきを以て八一類を除きたる特殊品は實行の如何に拘らず底堅を失はざるもの如し

米鐵の昂騰

と將たる先物前報の如くにて之れ信ずるに足らず坊間に傳ふる賣止設の如きは其眞相

積出期の先物

なるより鋼ては安値には應諾の鑛出せん傾向あり

正米益々强し

正米加 米界は引續く相場の暴騰に熱氣愈々加はりつゝある處先大阪期米二十二圓の新高値を傳へ之と同事に又々人氣を煽ふられ相場は昨午後に至り約四十一圓の上玄十六圓三十五錢に奔騰し精米値は市中御

七十錢更に激騰 十九圓五

界は仁川引續き立合を停止せるのみならず本邦の大市場なる當局又立合延引を傳へて形勢愈々不穩を呈し來れり左れば宮正米市場も今午前中は買方商談を進むるに至らずして傍觀的態度を取るの止むなき事となり一般商內捗らず從つて氣配殆ど無見富なり

京城在米潤澤乎

前月頃迄將米手薄なりし京城在米も[illegible]

約五萬叺內外に上る數

前月末より本月初めに亙る相場の急騰により日本人側精米筋及び鮮人筋が俄然狼狽して當時他所に買附たる數之が廻著するに從びて一時人氣を軟化する迄に至りしが鮮米各地は常に京仁市場に先立つて相場の昂騰を呈するのみならず據報の如く地方在米缺乏の影響は釜山群山大邱大田等の方面より逆つて買物を齎らすの奇現象を呈する事となり今日迄既に前記地方及び元山迄に陸軍納入米を合して

約一萬叺を手放した

るが一面此間に於て徐々ながら地方よりの廻米もあり結局當地現在の在米は月初より

格別減退

なく他地方に比すれば尙潤澤といふを得べし

機械油强硬

重油は近來本邦產の噴油多し、機需要之に增して多く從つて價格又騰貴し且つ炭價暴騰の影響は機械油の精製不引合ひとなり坑元に於ては殆ど重油の供之を貿約するもの多く爲めにマシン油及び車軸用油の如き昨今非常に品薄となり從れて氣配も次第に强硬なり

染料氣弱し

染料は昨今當市場期節季に入り元來が稍動き不振の折柄なると交戰國中屢々單獨講和の說さへ傳はりて秋口崩落期迄の間に或は時局の急變を來さずやとの懸念ある爲め此際一層取引閑散に陷り從つて氣配も背勞の

特種品を除

くは概して弱模樣なり

眞綿は低落

時節柄需要閑散にて實行捗々からざる眞綿は昨今地方農繁期に差掛り一入沈靜を來し問屋筋は一般に六七月の新物出廻りを見越し手控への氣味にて寧ろ手持を手放さんとの風情なるため盆許相場は引緩みの一方にて別選入金上々入金追販東とも何れも產地相場十圓方の

低落を告

げたるが先行尙一段の不味を免れざるもの如し而して本年は思惑的買進み皆無なるがそは相場の低落を速めたるの感あるが併し現相場を昨年に比せば

尙十五圓方の上

値にあり

仁川米豆取引所 三仲買店 主任 西川平治郎 電話一五八番 長一五九番 自宅電話七一二〇番

大里燒酒入荷

市中に於ける燒酒の消費は可成りの多額に上るも大抵鮮人間に限られ內地人向きとしては夏期僅かの需用あるのみにて內地よりの移入未だ尠く漸く醸造地の粕取物が賞行けるのみなりしが今春來初めて大里製の燒酒移入試賣さるゝに到れり尤も共額少く成績明かならず單に低廉なる飲料として見るときは在來の高粱酒其他の鮮內產燒酒と角逐するに足るべし値は戻し稅石二十圓鮮內消費稅五圓を差し引き大卸し四十錢三十圓內外なるべし市中小賣り値現在は四十度一斗四圓二十錢四十五度一斗四圓五十錢內外にして之を在來輸入の粕取物一斗六圓見當なるに比すれば遙か低廉にして鮮人需用程度に適すべしただ切千廿諾を材料とせる本品が果して鮮人の嗜好に適ふや否やは疑問なるが馴るゝに從ひ鮮內飲料界の一勢力たるに到らむ

生麥酒入荷

生麥酒は豫報の通り移入されし筈にて既に共第一回として樽まづ釜山には到、市中には販賣到著未だ不明なるも本社側に於ては小賣値段未だ不明なるも本社側にては共成績如何によりて更に市に樽ダメを入れむ企劃なる由

白米小賣値上

白米小賣値段は卸値の暴騰に連れ二十四日一躍一圓方引上げられ右に付一等米二十錢次白十九錢五厘となれり

京城正米

過般ご相場暴騰の機先大阪期米は前日迄に二十圓抜きの大勢進を報ずるに至りし爲め二十三日は午後に至り人氣益々高潮し玄米は上十六圓三十五錢中十五圓八十錢十五圓二十錢と午前中に比し

四十丁以上躍

進し白米又別項の如く一躍七八十錢方上放れたり今朝は大阪期米立會延期を報じ

事態愈々穩

かならざる傾向となり爲めに宮正米界も賣人買人共に商談を控ふる事となり相場の見當も立ち兼ぬるやに見受けられたり

京城雜穀

▲正米高代用品の需用旺なる上諸品々薄にて稍堅し其他概ね强含みない▲滿州產地の一部崩落の報あるもこれ迄一過ぎしたため反動にて漸く他地方と均合とれしに過ぎざるに市中在荷多からず其み人多ため漸次騰貴して目下石十四圓見當を唱へつゝあり△大麥 品乏しくて五圓八九十錢の高値に跡高の見込△黍 これも品薄石七圓五十錢內外△小豆 は稍落ちつき赤大玉は石十三圓五十錢小玉は同十圓の見當なるも買物なし

仁川米豆取引所仲買人 まろにち ◯日 仲買店 電話 二八二番 二八三番

南大門の廻穀

軍浦場	白二〇叺	平壤	大豆二五叺
金村	粉三七叺	裡里	院粟一六七叺
金村	白米九九叺	平澤	玄米一四叺
黃州	胡麻一三叺	西水原	米三〇四叺

△中小豆 やゝ活氣づきて昨今十圓八十錢に昇る△綠豆 依然保合ひ石十一圓八十錢△白胡麻 愈々弱氣一方にて目下上物二十八圓次物廿七圓と空前の高值

各地商況

〇大邱(二十三日) 賣り物さしては餘り尠なからず今買人は精米口よりの補充買にして一寸買進みたる商狀然して米主は依然として賣腰强く容易に手安く賣らされば精米底腹き口も一齊に買取るの商狀市場沽氣乍ら相場は二十錢方の跳返しにて玄米三千餘俵の商內ありたり

〇馬山(二十二日) ▲玄米 內地期米界相變らず好勢共の影響を受け依然强保合ひの姿にあり品薄なるが爲め出廻り少く地場高なれば他地との商談全く整はず氣配は底堅至つて强き模樣なり期上玄十六圓二十錢見當なり

〇木浦(二十二日) ▲正米(五々保合) 二三日來餘りの高値なるに各筋の警戒心漸く大にして相場ザックリ保合居たるが今朝大阪期米節々昂騰の見込入氣底深となり或者は極めて先高人氣を唱ふる様に取者は安頂上を唱ふるあり捕捉し難し、然して當用筋は實行引續き好況にして殊に濟州島方面へは移出旺んながら何様餘りの高値にて思ふ様原料を買進む能はず、賣控の態にて相場は大阪高に拘はらず昨日の儘を保合たり

上格玄俵租一六六七〇、下格中俵租一六六〇

下關相場

▲朝鮮白米は振はず 北陸出廻り途切れたるのみならず內地米の依然强硬に連れ各米主の氣張り居る爲め底硬く、惡しからず然れども既記の如き事情の下に兎角買人の高値は追隨せざるに依り唯だ行き步々しからずして格別氣勢昇らず

〇小豆は氣鈍し 本品は既記の如き事情の下に兎角買氣進まずして賣れ行きの鈍き爲め相變らず市況は頗る鈍く然れども共、別に投げ物的の賣り物も又現はれざるものゝ如し

▲大豆は矢張手堅し 本品は値頃よりして共後別に買進む相人現はれずと雖も何分頃に來出廻り多からぬのみならず產地も依然として强硬の情報にある杯各手持筋の氣張り居る爲め相變らず市況手堅く當用物百五十叺許りは十二圓四十錢に手合せ行はれ其他弗々の出來値は左の通りにて入著したるは當川物三百九叺新義州產三百九叺天安物三百九叺等なり

△朝鮮一等白米(當用) 十八圓九十錢
△同 十八圓八十錢
△同 九十錢
△新義州大豆 十二圓四十錢
△同 十二圓四十五錢
△當川大豆(地廻) 十二圓四十錢
△元山大豆並上 十二圓九十錢
△同 十三圓

んと思ばれる今後の成行は聞くに隨ひ報道する所あるべし

北濱たより

▲材料缺乏さる 一般買方の警戒嚴重である爲めに昨日の如き外國貿易の大出超が傳へられた場合には反つて買物よりも利喰の賣物が喚び易く相場が下押すので歡派は相場が侮つて吹値は賣りと熱を吹いて居るのである買方の用心が堅固で高値に於て局面的に買玉を撥けず吹値は透さず利を喰ふて居るから少々の惡材料が出たとて悅て、買玉を投退かぬ上に安値は買ひと進んで來るであらうから大なる崩れはありやう筈がないと同時に正貨の累積も貿易の順調も金融の緩慢も一向に無視して安心して買込める共の反動は早晩現はれねばならぬ

△紡株買氣熾烈 實質及び業績樂觀の勝高き紡績株は引續き買募ひの傾向顯著にして殊に中旬貿易の大出超が少しも相場に響かざり！關係にて寧ろ買易き氣合みな生じ地方筋よりの買物は先づ斯株を選擇して頻りに一齊に氣丈の商勢を呈したるが共制合伸び得ざりし原因は一面に於て利喰の跡なからざる結果なるべく然も總て實勢相場を實現するに至るべき望みは充分なるもの之れあるべし

△大阪商船株 一般に懸念せられたる新株の募集は時期のよかつたのと買出價格の安かつた爲めに豫期したよりも優良の成績で未だ確實の數は知る事は出來ぬけれざし二倍以上の應募があつたのは確かで豫入價格も最低七十圓以上を豫想せられて居るのであるが新株が七十圓で手に入るとせば之に拂込みの五十圓を加ふれば百二十圓となるのであるが親株は二百二十圓見當の價であるから此の差は百圓切あるが商船會社增資後に大發展する筈で既に二、五萬噸の船を注文して之れが今の二箇年間に悉く竣成役する事となつて居るから之に要する資金の爲めに新株は今後の二箇年間には全部拂込みが徵收せらるゝであらうとしたならば舊株を買つて新株を買ふ方が豫程利益さなるの計算であるから親株には賣物が絕ねので同株は何となく頭重い步調を示して居るのである

確實（定期米 賣買案內） 仁川海岸町 取引所仲買人 迅速（回報大勉 昼送す） 電話六〇番 一六五 六三二番 ◯マ 廣澤正次郎

生魚市場

可成りの入荷ある中に釜山より鯛入れるは珍らし、乃丸市場建値左如

タイ一七、同仁川一八、チヌメイ九、スヾキ一〇、ヒラメ七、カレイ六、ハモ一五、サバ六、アジ九、モエビ一七、ニベ八、カツオ二四、ヌゴ九、キジイカ一〇、コノシロ七、ボラ六、イカ七、アワビ二一、カニ四、カナガヒラ八、ヒラ七、小モノ六

仁川期米

二十四日前場

兵庫前寄二十圓二十錢東京前寄十九圓八十三錢

大阪亂高下の爲め 一時立會延引

の爲め當地引續き停止

仁川米豆取引所仲買人 海岸町三丁目 ㊄ 大五仲買店 電三〇九四九二

▲大阪立會延引

兵庫昨前項の如く開始したるも大阪市場立會延引を報じたるも今朝は前報じたり是必竟如何なる大市場に於ても相場の急激なる暴騰にし遭遇し益々取引の危險狀態に進みつゝある結果に外ならず

▲停止後の形勢

昨紙所報の如く後場立會に際し不穩の手振りあり爲に取引所は立會を停止するのむなき場合に立至つたが共後の形勢はまだ判明せず取引所も是が解決に就き種々協議中との事なれば調停者の出でゝ附合に盡力する外策なから

青物と生果

昆蟲相は荷圓へ氣味と賣行き不振の折柄順次摘いて入荷あり爲めに氣配は益々軟化し昨今一圓七八十錢處を唱ふるに至れり林檎製チーブルは內地相變らずの好況にて著荷殆ごなし

白米標準値

十九圓六十錢

小賣白米

現金賣

一等白米	二十錢
次白	十九錢五厘

……郡達川面梨津方面へ配達の爲め出發せしが二十五日梨津附近路傍に小包郵便物全部を遺棄し開島方面に……際同ヘ……藤勇太郎より切……入金として金七……圓を委讓されたるも客面長面書記等……興東丈……到りたるに客室にて車座……め全州浦……四番地支那人正……日出月口調……人面元芳(……)群山港碇泊漁船內支那……人徐明有(……)同上朱不具(……)同上……犯人群山全州浦十四正興東方面支那……

●平壤地方の工業發達が

仁川港に好影響

本年一月以降から起つた興味ある現象

支那口の鎭南浦港には外國貿易船が寄港せぬ

朝鮮に於ける工業は近年著しい趨勢を以て勃興しつゝ有るが其結果は單に朝鮮に於ける産業の發達を促す計りで無く、之れに伴ふ土地の繁盛、商工業の發達、運輸機關の繁忙等

■各方面に纖細な好影響■を與へつゝ有る事は言ふ迄も無いが最近に於て我仁川港が平壤地方の工業發達の影響を受けて居ると言ふ事實を發見するに迨んで吾々をして企業界の進歩が如何に廣汎に經濟界を稗しつゝ有るかに對して頗る興味ある事實を示した一例を擧ぐれば目下建設中の兼二浦三井製鐵所用鐵材及び機械類の如きは本年一二月頃から今日に至る迄引續き仁川港を經由し、平壤セメント會社用輕便鐵道枕木も又仁川に揚陸したが

■此れ等は單に結氷期間中鎭南浦港が結氷する■からと言ふ一時的の關係では無く港灣の缺陷と、運輸機關の不備に基くものである、即ち兼二浦行きの鐵材の如きは一旦鎭南浦で本船から艀船に積取つて大同江を遡江しても、此れを揚陸すべき設備が無い計りで無く容積及び重量の大きい機械類では艀船に積載して遡江する事は到底出來ない、それからもつと重大な問題としては外國貿易に當つて居る樣な大船は決して鎭南浦に寄港しない

■京仁以北地方の輸入品■はどうしても仁川港に揚陸せねばならないから今後鎭南浦港が港灣の施設を擴張して外國貿易に充分能力を發揮せない限り、仁川港は永遠に直輸入品の經由地として利益を受くる事になるのである、現に三井製鐵所の機械類は一月以降約四千噸以上を仁川に揚陸したが此れに要する艀船及び荷揚費のみにても七八千圓に達したと謂ふから一般は推して知る可きで

■此外にも久原製鍊所操業以來仁川附近から産出する鑛石を帆船に依つて盛んに輸送されると謂ふから、平南地方に於ける工業の發展が如何に仁川に好影響を與へて居るかゞ窺はれやう、斯樣に一見地方的利害關係を有しない平安道方面の工業が發達したのみでも、間接利益を享くるのであるが今後余爾近接した京城及び龍山等に工業が益々發達したならば港灣としての仁川は更らに其の眞價と本能を發揮して

■直接利益を享受する事■は言を竢する迄もあるまい、因に仁川港の貿易統計に依れば大正四年に於ては一月以降四月迄の機械輪移入額は二十六萬八千圓、五年同期は四萬三千圓なるに比し本年同期間に於ては實に七十二萬四千圓の鉅額に達してゐる(仁川)

たるが今後一層の需要を喚起するに至る可き模樣也云々と某氏は語れり(仁川)

◎吳服類の騰貴

■やはり歐洲戰亂の結果■

近頃平壤附近の市場に於て調査したところに依れば諸物貨中吳服物が一番高くなつてゐるたゞ高くなつたばかりではない品物に拂底を告げてゐる中にも綿製品が最も甚だしいとのことであるこれも歐洲戰亂の結果で輸送船舶の不足が因を爲して綿花の輸入がおもはしく行かぬからである過般獨米宣戰の報傳へられて以來一層騰貴すべく坊間に噂せられてゐる

◎江華島の石材

需要遽に增加

江華島より採掘する石材は明治三十年頃より世人の注目する處となり京龍地方及び各方面の需要を喚起するに至りしが明治四十二年山林法出でゝより東大門外北漢山の中腹數箇所の採掘を許さるゝや俄然該勢力を驅逐され了りたるが約十年を經過したる今日に至りて東大門外の石材も略採掘し盡し之れが爲めに石材の拂底を告げたるより江華島産石材は再び土木建築界より重要視さるゝに至り最近に至りて龍山より軍隊用として大注文を受けたるより既に江華島より石船に搭じ漢江を溯航して輸送し

◎平南の勸業費

大正六年度に於ける平南地方費の中勸業費は總計十一萬一千餘圓にて其內國庫補助金二萬四千餘圓純地方費四萬三千餘圓授産費四萬三千餘圓にして細別左表の如し(平壤)

▲農業 種苗場九、一二六圓農事改良八、六六九、穀檢査二二、一〇〇農業補助一、四〇〇農業獎勵費八二八計二二、一二四

▲蠶業 蠶業獎勵一、〇七〇〇蠶業講習所三、一三一夏蠶業傳習所三、六三六桑苗圃八、六五四桑苗種子配與九、九六八製絲傳習五七六養蠶講習所設備一九二夏秋蠶傳習所設備九八〇蠶業補助六、五二〇計四四、八四七

▲畜産 畜産改良二、七二一畜産補助一三、六九〇計一六、四一一

▲林業 平壤林業苗圃九、〇三二德川林業苗圃一、五二四受朴一、五八六椎茸栽培一五〇林業補助六〇〇計一二、八九四

▲漁業 漁業改良三、三七四水産補助五〇〇計三、八七四

▲機業 機業講習所四、一一六物産陳列場九三六機業傳習二、四七六工業補助三、六五〇計一一、二七八

◎京城神社當番幹事

京城神社に於ては大總代中本年度の當番幹事は第二區の大總代五名之に當ることゝなりて廿三日社務所に於て幹事會を開き互選の結果左の通り決定赴任せり

▲幹事長秋吉富太郎▲會計幹事岩城六太▲同釘本藤次郎、庶務幹事山口太兵衛▲同金澤……

が最近一箇月前の物價と昨年一箇月前の物價とを比較對照すると左記のやうな結果になる

品名	現在小賣値	一ケ月前小賣値	昨年當時相場
金巾老人褌一尺	一〇二〇	九八〇	七〇錢
木綿旗印一反	二四五	二一五	一五〇
紺子無文一疋	一〇五〇	一〇一〇	八七〇
綿子八十把一個	四八五	四四五	三二五
亭一尺	四九〇	四二〇	三八〇

■浴衣の洗濯も出來ない

此相場表に依りて見ると三割乃至五割方の高値を示してゐるが內地人向吳服物もこれと同樣騰貴してゐるに違ひないと思へば今年は餘り浴衣の洗濯も出來ない(平壤)

◎大佛ホテル跡が 中華樓となる

仁川名物の一つとなつて居る大佛ホテルは今回中華樓と呼ぶ支那料理屋となるが出資者は重に支那人で一株百圓總資本數千圓の株式組織であるとか、其の經營振りは、純支那料理ではあるが、在來の遣方では潔癖性の日本人に適しないと言ふので三階には嬌艶滴るが如き日本美人を置き總ての設備を日本人の嗜好に適する樣にして大いて圓轉滑脫の方針を取る相であるが何れ開店の後は「酒舍色」辨一の看板や鼻を衝く樣な油の匂ひが本町角の三層樓に異彩臭を放つであらう(仁川)

▲運動會と兒童▼

◎チト稀い事ではあるが去る十三日に催された仁川聯合運動會の統計から見た成績を聞くに

◎小學校の調査に依ると男八百五十九名女七百九十九名合計千六百五十八名中會場で發病した生徒が二十負傷が六(勿論輕傷)で

◎此れを昨年に比較すると合計數に於て十五秒く粉火物は昨年の百四十七に對する百二

◎休憩で湯水を呑んだ者は昨年の二百四十四名に比して本年は百三名と言ふ素晴しい好成績であつた

◎其れから兒童の最も興味を引いた者は分列式と障碍物競爭機械に働き體操の波上のダンス合同體操等であつた相な

◎近頃小學校の校庭で體操の教練をして居ると附近の大供小供が寄つて來てブランコや遊動木をギイー〳〵やらかすので

◎兒童の注意力が散漫になつて困るとは某教師の嘆息であるが氣智と無遠慮の人類程手に餘る者はないそれから

◎五六才の兒童がテニスコート內に飛び込んで負傷した事もあつたが、學校附近の親達は宜く〳〵注意して居らぬと飛んだ迷惑な自他共に掛らねばならぬ事になるから注意の上にも注意した方が宜からうと老婆心迄に敢へて匿く(仁川)

◎春川愛國婦人會

愛國婦人會春川支部では二十日午前十一時より春川の昭陽亭に於て春季懇親會の催しがありました昇春の空名殘りなく晴れ渡り朗らかに囀る山鳥の聲も好き日和でありました世話人は杉本郡守夫人方の御集りに中分のない御馳走が出て宴も酣なる時世話人方の思ひ〳〵の御隱し藝が出て參り春風に吹く風につれて鈴たしなみの琴の音が何處ともなく流れ梨の花が夕日を浴びてひら〳〵と落る頃まで樂しく打興じ解散いたしました只今春川の會員の重なる方は次の通りであります(春川)

李梅子、李既子、奈良たく子、藤谷やね子、末松鎌浪子、淺見久千代子、川崎正茂子、結城きく子、筱田つる子、中好子、鏑ふみ子、覓きち子、吉田照子、布澤よし子、野上花江子、中村千代子、菅井居容子、久保良登子、李宜鄉、李眞淑、梁時よし子、西山梅子

◎山田技師夫人

鐵道局建築課技師山田龜治氏夫人淸子三十三歲は昨年末以來病氣療養中の處二十三日午後五時三十分竟に逝去せり夫人は鐵道局長官大屋權平氏の長女にして華族女學校の出身、二男一女を遺せり葬儀は二十六日午後二時舊龍山陽龍寺にて行はるゝ由

○京城神社(南山)二十五日午前十時より天滿宮月次祭執行

▲輕便パンの製法

皆さんの家庭でパンを製するには うどん粉四十匁(飯茶碗に二杯) 砂糖四匁(茶呑茶碗の底に山盛一杯) 食鹽四分(一つまみ) 水十五匁(茶呑茶碗に一杯) この割合で材料を整へ砂糖、食鹽を水に溶かしうどん粉に入れてかき廻し堅さうどん粉と捏ぜ合せたものを加へ手早く捏ねてよくこれで適宜に丸め燒器に油を引いたる處に入れ蓋をして上下から燒きます火は上を強くします、凡十分間も經てば燒けます燒器の無い時は玉子燒を利用する事も出來或は御飯蒸し器で蒸す事も出來ます 玉子を混ぜ合せると味がよくなります

第九期決算

(自大正五年四月一日 至大正六年三月卅一日)

貸借對照表

資産ノ部

科目	金額(圓)
定期償還貸付金	壹、貳八七、六參壹、五六〇
年賦償還貸付金	四、參貳〇、九六七、〇貳〇
移住費貸付金	貳參〇、六七參、〇壹〇
農工債券引受高	壹、壹〇〇、〇〇〇、〇〇〇
別口當座預ケ金	壹、五七〇、〇〇〇、〇〇〇
當座預ケ金	五五〇、六五九、七參〇
通知預ケ金	六壹〇、〇〇〇、〇〇〇
定期預ケ金	壹、九五〇、〇〇〇、〇〇〇
振替貯金	壹五、〇壹六、〇六參
債券價格較差	壹、參參〇、參壹貳、五〇〇
地所	壹五、壹七七、參八七、四八九
建物	壹、壹壹四、四五五、四貳九
工作物	壹五五、四參〇
耕牛	五、五〇七、六五〇
農産物	八四壹、〇貳貳、〇六六
農具及肥料	四九五、貳壹〇
什器	四、〇九五、九壹〇
耕牛讓渡金	八參、〇六〇、壹七〇
貸付物品	貳六、八四〇、〇九八
開墾工事費	參六〇、〇貳八、壹參〇
灌漑工事費	貳六、參〇貳、壹八〇
新築費	壹四、八參參、參〇〇
山林費	壹〇八、九八六、〇五貳
竹林費	壹六、七〇壹、七壹五
地所費	六、參五六、壹七〇
出張所勘定	壹參參、貳壹六、五〇四
地所買收諸掛	貳五貳、四七四、八八貳
假拂金	壹五四、五六參、七八八
未收金	七、參五七、八七八
金銀在高	七〇、六參壹
總計	參壹、貳九九、壹七〇、五六五

負債ノ部

科目	金額(圓)
資本金	壹〇、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇
缺損補塡準備金	四四五、九〇〇、〇〇〇
配當平均準備金	壹參五、九〇〇、〇〇〇
債券發行高	壹九、參五〇、〇〇〇、〇〇〇
假受金	壹六四、八六七、六五〇
未拂金	貳貳、六五參、四五〇
契約保證金	四貳、九壹四、〇〇〇
身元保證積立金	貳四、七六五、壹壹〇
職員退職給與基金	貳八、四八貳、六七〇
前期繰越金	貳六五、七壹六、九七參
當期利益金	八壹七、九七〇、七壹貳
總計	參壹、貳九九、壹七〇、五六五

利益金分配處分

一金八拾壹萬七千九百七拾圓七拾壹錢貳厘　當期利益金
一金貳拾六萬五千七百拾六圓九拾七錢參厘　前期繰越金
合計　金壹百八萬參千六百八拾七圓六拾八錢五厘
內
金六萬五千五百圓也　缺損補塡準備金
金壹萬六千四百圓也　配當平均準備金
金四萬九百圓也　役員賞與及交際費
金六拾五萬圓也　配當金(年六分五厘)
金參拾壹萬八百八拾七圓六拾八錢五厘　後期繰越金

監事當選

監事二名改選ノ結果島徳藏、趙鎭泰重任セリ

右公告候也

大正六年五月

東洋拓殖株式會社

●無代●自動車學校

方今天下の氣運は自動車に向て居る心機一轉立身出世の近途は實に此事業である此際何人にも贈與し聊か社會國家に貢獻する所あらんとす即時申込まるべし

東京市京橋區 私立認可 無代自動車學校

法人登記公告

殷栗地方金融組合登記事項中變更 組合長洪淳帶任期滿了ノ處大正六年五月拾六日重任ス

大正六年五月貳拾壹日登記

海州地方法院殷栗出張所

▲干……立ち上り……同廿六日 ▲……同廿七日 ▲……同廿八日 ▲川……同廿九日 ▲……同卅一日 ▲……何處何號と明記に限る ▲宛名は京城日報……日限締切局消印者文藝係 當選者には五十錢郵券を呈す

報 謎

五月廿六日より同三十日迄

弊店獨特 抽籤大割引

代表的流行

夏物大賣出し

御買上金額五十錢以上に對し二割以下四種最も興味有抽籤割引付一本も空籤なし

京城明治町

唐川吳服店

電話二二六一番

夏物 大賣出し

五月 二十五 二十六 二十七 三日間

京城本町 丸一吳服店

各種萬年筆即時修繕

京城旭町二ノ六(府廳左橫入)

東京パイン萬年筆出張所

營業品目

肥料部

蒸製骨粉、乾血、蹄角粉
星印配合肥料、細工用地骨
細工用蹄角各種膠及膠原料

石鹸部

化粧用石鹸、工業用、家庭用石鹸、浮石鹸、粉末石鹸
牛脂、椰子油、鯨油、其他油脂類、苛性曹達、洗曹達

京城東大門外紅葉町
朝鮮肥料製造所
電話二六三五番

京城岡崎町一四番地
朝日石鹸製造所
電話二五六四番 圓電話九七三番 振替口座京城〇〇四番

法人登記

廣州地方金融組合長缺員ノ所左記ノ者組合長ニ就任シタリ

廣州郡中部面壽進里百參拾番地 李龍鎬

右大正六年五月貳拾貳日登記

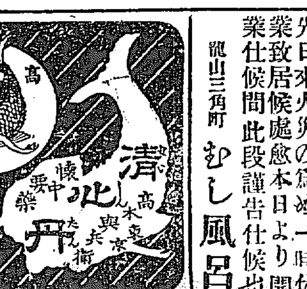
京城地方法院廣州出張所

山田龜治妻淸子儀病氣の處本日午後五時三十分死去致候に付來る二十六日午後二時自宅出棺龍山瑞龍寺に於て佛葬相營申候間此段御通知申上候也

大正六年五月廿三日

龍山鐵道官舍一二三號

男 山田良太郞
男 伴次郞
親戚 大屋權平
總代 山本彌平太



本日より開業

先日來火災の爲め一時休業致居候處愈本日より開業仕候間此段謹告仕候也

龍山三角町 むし風呂

明君道中記

第百五十五席 田邊南龍口演

正面に鳥居左京亮忠政著坐いたす、其の傍に舍弟久五郎成次其の外家老用人番頭殘らず並んで居ります 忠『御覽に相成り 忠『安藤の家來仲右衛門とは其方か如何なる用事あつて遠き當所へ罷越したるぞ 仲『御目通り仰付られ如何ばかりか有難き仕合に存じまする、老衷いたしたる仲右衛門何事を申し上ぐるも老體のことなれば何卒お聞き脱しを願ひまする、御家來方も驚いた、何を云ふか知らないが這麼犯人同様な者を遣はさないでも宜いと思つて居る 忠『用事と云ふは何じや 仲『此度下野國河内郡宇都宮の城主本多上野介正純穩ならざる行ひを爲し、依て當將軍家悉くの御怒り、日光御社參も途中より御歸城あらせられたる程なれど、今天下泰平に似て泰平にあらず關ヶ原大坂の戰も相濟んだるばかり未だ諸國に浪人の潜み居る世の中、業々しく軍馬を宇都宮に差向ける時は其の途中如何なることあるやも知れずとあつて主人重長へ上使の役仰付られたり、然れども駿河大納言忠長公の思召によつて當將軍家を害し奉らんといふことを喋々しく申し觸す者有之ども、本多上野介正純右様なる不忠者にあらず、佐渡守以來德川の恩澤を莫大に受け居りまする者、是には何か仔細のあることヽ心得ます、依て主人重長宇都宮城に至り上野介に上意の趣を告げたる處上野介の云へるには將軍家を害し奉るなぞといふ左様な志は毫も無之最も當時安藤對馬守在所上州高崎に蟄居あらせられる駿河大納言忠長公御傅役は憚りながら本多上野介、鳥井左京亮、平岩主計頭の三名なり、依て將軍家の御前に於て三人打揃つて申し上げることあり、何卒鳥井左京亮平岩主計頭をお招きに預り度由申し出で、主人重長之を承諾いたしたれど、大軍を率いて當地に至る時には若し御家人等心得違ひを爲し關東より城責の爲に來りしなぞと思ひ、當城より發砲いたす其時は却つて物の破れと相成らんと存じ、年老たる荻仲右衛門一人當地へ來れば御當家御家人も左様な殺伐なることは行はるヽ氣遣ひはあるまじければ密かに御領主に御目通を願ひ、其の事を申し上げんと存じて罷越したる次第、何卒速に關東へ御出下され度、途中の案内として仲右衛門御供に加はり奉る、老人の是まで來りし故格別の思召を以て是非共江戸表へ御越しの程を願ひまする、然し途中の儀は多人數御召伴れ無之此段仲右衛門より願ひまする』といふは大勢で來ると却つて心得違ひをする者があつて甚麼間違ひが起らんとも限りません、成丈ヶ身を愼んで三名打揃つて江戸表へ罷越し將軍家へ對して申し譯をいたさるヽ樣にといふ口上忠政、莞爾と打笑ひ 忠『何事かと心得しに此度上野介將軍家の疑ひを蒙り江戸表へ罷越し、駿河殿の御志を申し述べて無事を計ひくれるとのこと、右様なる言葉なくとも當方より江戸表へ罷越し、將軍家に拜顔を願ひ貳心なきことを忠政相述べやうと心得、實は供揃ひまでもいたし置いたる處、其方の使淘に太儀である、今宵一夜は仲右衛門當城内に止り明日速に出立いたすであらう』と仰せられました、仲右衛門是を聞いて大いに喜び 仲『流石御先君彦右衛門様より連綿たる御當家、德川家の羽翼とも申する左京亮様、事柄も早く御會得に相成り江戸表へ嫌疑を晴さん爲に御出府なさらうといふ思召は恐入りました、今宵は某當御城内に止りまして昔話を仕ること故何うぞお聞き取りに預りたい』忠政は喜んで其の夜仲右衛門を城内に泊め酒肴を以て慰めました、

三碧

五月二十六日 九星
舊四月六日 戊戌
本命五黄 八方閉 先負

▲五黄 不作法の事有る日新事見合南方は吉 晴魚なし ▲六白 腕前を顯す日轉居入學金融名弘求職建築縁組負業皆吉 ▲七赤 功勞を知られて立身出世を爲すの日萬進で利有り 待人遠くより來る ▲八白 他のせわ事にて散財せんとす注意新事手控當の事は吉 ▲九紫 俸給の日轉居入門求職金弘件出漁喧嘩姑嫁入寄宗等凶吉 ▲一白 胸算の狂ふ事有り新事手控常事は吉又財を防がるべし ▲二黒 先の覗へぬ事有日新事手控常事は吉 保證連帯等せぬがよし ▲三碧 癖にさわる事多き日新事手控若事樹を植ゑるは吉 ▲四緑 何さなく氣の進まぬ事有る日新事手控若事は吉衛生に注意せらるべし

酒煙草きらいになる藥

どんな酒煙草のみでも害なく心から嫌いになる郵券二錢送れば説明書及大澤博士の禁酒論進呈 ＝禁酒丸＝禁煙液＝
其他名士の禁酒禁煙
本舖 大阪西區靭南通二 森田商店

梅毒の淋病 無料相談

▽秘密を重じて厳守す△ ▽病名を記しハガキで申込め△ ▽詳細説明書は直に封送さる△
■初めて病毒に傳染し醫師に行くも恥かしく治療に當惑しつヽある人は安全なる内服化學劑で自宅で秘密に根治ぬ内治る
■病毒が潜伏し慢性となり時々目等に色々の病が出る人、現在外へ頑固に吹き出し長く治らぬ人も現代最善の自療法たる化學劑で自宅で安全迅速に治る
東京市本所區向島小梅町 東京藥化學研究所

□演藝案内

有樂館 直營 早川演藝部 東京小林商會常設一手代理店 米國ユニヴァーサル會社特約
電話（階上）四九七番（階下）二〇五番
五月廿二日より卅一日迄の特作大寫眞公開 資本金二億萬圓世界一の大會社ユニヴァーサルフヰルム特作名金、快漢ローローにてお馴染のフォード氏カナード嬢大一座總出演 世界的連續大寫眞「紫の覆面」全三十卷の内第一回六卷上場 帝國館は今や築地の天地東京の上下に新し連續公開す見よ早川演藝部の大努力を 日小一東京小林商會代表的作品
▲安達ヶ原三段目袖萩祭文の場 安部貞任（市川海老十郎）袖萩（市川紅若）宗任（市川升十郎）一相勤め候 桂代三郎）八幡太夫竹本糸光出語
▲人氣凋くが如きセルビア國名女優も〔illegible〕の興行に限りお別れ致します
▲お名殘餘興「ルボーフ嬢」東京小林商會が東洋代表して本年三月英國フヰルム協會へ出品し月桂冠を獲たる深刻名譽ある空前の大寫眞斯界の名優井上正夫、木下吉之助等の幹部連が日本俳優を代表して説ける血と涙との結晶劇
▲神秘劇「大尉の娘」全五卷 文藝フルウドゲン氏原作 原名（喧兵モエピース） 中内蝶二譯 篠山吟葉脚色
帝劇にて公開の際非常な好評の「日本に此丈けのフヰルムが出來る様になれば私も安心して死ねます」撮影術の進歩染色自然活動俳優の動作何れも眞に迫つて一點の申分がありません將來ドンドン外國の爲めに大に研究せられより以上の作品を公に國家の爲に輸出する様に願ひ度い云々（其他に活動寫眞悲劇界に〔illegible〕加へます）

御成座 電話一九一一 成田 新派義友美團 静間三郎一行 來る五月廿四日より開演

大正館 櫻井町 電話八七三 日本活動寫眞株式會社朝鮮代理店
▲五月廿五日より新寫眞提供 ▲實寫ゴーモン時局週報 ○寫眞鐵道局の驚き ▲米國キーストン會社秀作 ○滑稽活劇コンクリンの感違ひ 全二巻 △日活東京派立花貞二郎一派出演 ○新派悲劇「盲目鳥」（全三卷）
▲英國ビショップ會社大作 ○探偵大活劇スペクトロ（全四卷）
○舊劇不知親不知子の邂逅「浪間の仇討」

黄金館 電話二六三七 六五二 天然色活動寫眞株式會社京城釜山一手代理店
五月二十日より臨時特別大興行 實寫 歐洲戰爭第二報 滑稽 先づ以て一安心 天活會社苦心の撮影 近來稀なる大寫眞 ▲舊劇 偉傑由井正雪 全六十五場 丸橋忠彌（澤村四郎五郎）由井正雪（市川延十郎）富士山本一大道

ルーデサック
男用一打 四拾錢上製六拾錢 女用一個七拾錢 一個入拾錢 壹圓 各種（送料）要
梅毒 淋病 月經帶 京城永樂町二丁目交番北 東京ドラッグ商會 滿鮮本部
自宅療法 第申込次進呈

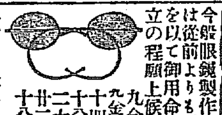
質 京城黄金町二丁目入（永樂町停留所北） 堀佐營業所 電話六三九番

新荷著 スヰツル製 懐中時計 アンクル時計

（ニッケル側）十八形 （片蓋） 二圓五十錢
同 十六形 同 七圓
同 十六形 同 八圓
同 日曜付十八形 同 九圓
（ラヂユーム付）十六形 同 六圓五十錢
同 十六形 同 四圓二十錢
同 十七形 同 十二圓
（銀側）ラヂユーム入十八形 （片蓋） 十二圓
同 十六形 同 四圓五十錢
色付 破席賣優美十二形 （婦人持片蓋） 七圓
金張十年保險 同 十七形半 （兩蓋） 十二圓
同 十六形九金 （片蓋） 六圓
金側 至三百八十圓 金十八
流行腕卷時計 十三形 ニッケル ラヂユーム入 七圓
同 十四形 （銀側） 十二圓

右は今回新著の商品にて本商會獨り之を有し他には無き所の商品に付き地方送附の注文に對しては代金引換小包郵便にて御送付申上候
時計、蓄音器、ミシン機械、自轉車、洋酒各國貴直輸入商
イングレッシー商會 本店 京城本町二丁目 電話九七二番

中村メガネヤ 電話千百十七番 振替京城三四六番

米國製金張玉付 眼鏡各種


九金細ズル 六、五〇〇
九金新線ナワ一匁三分八、七〇〇
十四金同一匁三分五、九〇〇
十八金同一匁五分八、八〇〇
二十金同一匁一〇、九〇〇
廿二金同一匁八分一〇、六〇〇
十八金縁ナシ玉付一四、〇〇〇
甲 二三、〇〇〇
乙 三五、〇〇〇
丙 二五、〇〇〇
赤銅一圓卅錢以上二圓五十錢迄
赤銅八十錢同二圓五十錢迄
赤金次分明二圓五十錢迄
鐵、ニッケル、硫石用一圓五十錢迄
柏物用六十錢より一圓まで
メタ乙玉一圓五十錢より三圓迄
クニスカ五一圓二十錢迄
サクッ山玉十錢以上一圓五十錢迄
各地方より御注文の節は代金引替にて直に御送附申上可候
京城本町一丁目（郵便局前）

眼鏡製作 今般眼鏡製作工所開設仕り候に付ては從前よりも層一層急速及價格低廉を以て御用命に應じ申す可候間御引立の程願上候

專賣特許 耐酸 粉末 精製器 蒸溜器
實用新案 二五一七八號 一二二分 間部器
振替東京二四七〇三番
東京市淺草區松清町八門跡前ならび 岩崎棟太郎商店 醫器製造販賣蒸溜器製造發賣元 定價表説明書送呈

法人登記
大正六年四月弐拾八日任期滿了退任二付抱川地方金融組合長再選就任シタリ
右大正六年五月弐拾参日登記
抱川郡郡内面西邑里
京城地方法院抱川出張所

ライオン齒磨

あなたは齒をお磨きですか？

齒を磨くには、
一番良い齒磨を使はなければなりません。
齒醫者の勸める齒磨を使はなければなりません。

ライオン齒磨は
專門齒科醫の推奬してゐる通り
品質が非常に純良で、効果が確實
でありますから、
大事な齒を磨くには此上もない良い齒磨でございます。

ライオン齒磨 ライオン石鹸 本舖 東京本所區外手町 小林富次郎 支店 大阪市西區靭南通一丁目

京城日報
第三版
五月廿五日（夕刊と合せて八頁）

[illegible] 第三版 八五、五〇 [illegible]
二十四日後場 [illegible] 下湖北米特売 [illegible]

▲[illegible] 兵庫東京大阪共に昨後の入電なし各店への通知に依れば大阪は本日午後三時より立會開始とあるも取引所へは通電なし

▲依然停止 昨後場停止後兵が爾後漸に寄々協議しつゝあ[illegible]

▲現物界 [illegible]五圓八十五錢黄海道十五圓八十錢黄海道米十五圓五十八錢等にて七千餘叺出來たり跡氣配は大阪の期米高を受けて精米筋の強氣的買ひ煽りたると賣惜しみに依り人氣四[illegible]

[illegible] 鮮米內地仕向は前月に比し幾分の增加を見たりと雖も尙引續き產地高の爲め移出不振を持し大豆は醸造仕[illegible]に輸移入品價額に於ても其の大宗たる綿絲布の如き農繁期に入り且つ月下旬不需要期に在り市況閑散の折柄支那で取引不引合となり鮮人一般に買控へたる結果益々買行鈍状に陷れり其の他諸雜貨類等も同様の事由にて賣[illegible]二千三百四十五圓、輸移入品價百六十三萬八百七十九圓にして之を前月に比すれば輸移出に於ては二萬八千增加を示せる有様なり

日鮮滿統一論（八）
京城日報

鮮滿と東蒙との關係

鮮滿の經濟的統一を圖る以上は、更に一歩を進めて亦宜しく鮮滿と東蒙との聯絡統一を圖らざる可からず。東蒙は日露協商に於て、既に我が主動的勢力圏に歸し、列國の之を認むる所たるのみならず、最近の日支條約に於て、我が國人は日支合辦に由り、農業及び附隨工業の經營を爲し得るの權利を獲得せるを以て、此の權利を實行するは、國運發展の要素を大成する所以なれば也。

東蒙とは、內蒙古中の東四盟（哲里木盟、卓索圖盟、昭烏達盟、錫林郭勒盟）と內蒙察哈爾東部地方との總稱にして、其の面積約一萬九千六百方里。略ぼ我國の本土四國九州の合計面積と相若けり。牧畜は、蒙古人の主業にして、蒙古なる地名は、直に牧畜を聯想せしむるものありと雖も、農耕に適すべき曠野亦少なしとせず。[illegible]の面積、約三千三十五萬三千九百[illegible]十七町歩の內、耕地に適すべき面積は、一千十一萬一千百三十九町歩を有し、亦其內、現耕地は約二百二十八萬八千二百町歩に過ぎずして、其の殘餘、約七百八十二萬二千九百四十町歩は、尙ほ未だ開墾せられざる也。

東蒙は滿洲と同じく鑛產に富み、金鑛の多くは、殆ど全部鑛脈にして、砂金は此等鑛脈の風化崩壞分床して、河底に堆積したる者なり。石炭は二箇の大炭田に分つを得べく、其の一は朝陽を中心として、東北阜新より西南氷溝に亙る古生代炭層にして、其二は赤峰を中心として東北西南に走りたる中生代の炭層也。而して鑛產の主なるものは、金、銀、銅、鉛、鐵、石炭、石綿、硝石、曹達、食鹽、硫黃、螢石、石灰及び石油等にして、孰れも此等鑛業の極めて幼稚にして、猶未だ發達せざるは、交通不便、人煙稀疎、物資の缺乏、勞働者の不足等に原因するものありと雖も、要するに東蒙寶庫の閉鎖日久しく、之を開拓するものなきに由らずんばあらず。

滿蒙兩土にして、政治的關係、經濟的關係に於て、離る可からざる根本的利害ありとせば、我が國民は東蒙の地域を探檢踏査し、其の政教、風俗、人情、及び產業狀態を審にし、蒙人を啓導し、其智を啓き、其富を開き、以て其の寶庫を開發し、之と經濟的聯絡、及び社會的聯絡を圖るの道を講ぜざる可からず。由來蒙古人は、漢人の如く理財の術に長せず、經濟思想亦極めて幼稚にして、產業興らず、文化開けず、通商貿易の如き、未だ其の智識を入せざるに似たり。故に目下張家口、多倫諾爾、海拉爾、鄭家屯、及び洮南等、東部內蒙古に於ける著名なる市場は勿論、內地の行商に至るまで漢商人の掌中に歸し、少數の外國商估之に交はるのみなりと雖も、其の人民は質實剛健にして、御し易し。苟も我が帝國の東蒙經營、其宜きを得るに於て、之を化し、之と其の聯絡を圖るも亦必ずしも難きにあらず。吾人は、今日に於て東蒙經營の策を講じ、鮮滿の一致聯絡を圖ると同一の意味に於て、滿蒙の一致聯絡を圖るの急務たるを認めざるを得ざる也。

遊支所感

（廿）税金一班
漢城銀行專務 韓相龍氏談

△三連單の眞價　由之是觀は三連單制度は如何にも外人に對する特典にして利便尠からざるものゝ如し、然れども釐金局の設置なき地方却者は物貨の價額に釐金税額を加算し以て課税を購買者たる三連單所有者に轉嫁せしむるが故に三連單は結局無用の長物たるに終るのみならず却て而僞を惹起し官憲の猜疑心を助成するの具となるに至る。就中或る地方官憲中には三連單を認めず外人の購買物貨に對して釐金税を納附せずとの理由下に之が差押を爲し荏苒數箇月を空費せしむる者あり、爲に商機の敏速を尙ぶ外人等は三連單の權利を放棄し釐金税を支拂ふを以て臨機を急ぐもの少からず、香港奥地及び徐州方面に於て葉煙草、棉花等を購求する日本商人等が之に苦しめらるゝこと最も繁きを見る

△滑稽な慈善税　又た慈善税は釐金税を徴收するに當り地方慈善事業の經費として之に附加徴税するものなるが、本税が果して慈善事業に使用されつゝあるや否やは甚た疑問なり、貧困者随所に滿ち、乞食道に溢るゝこと東洋各國中其の比を見ざる支那の現狀に徴せば此の間の消息恐らく半ばに過ぐるものあるを知る可し。支那の税金に就きては尙ほ說く可く論ず可きもの尠少ならざるも、前途を急ぐの要あればそは他日に讓り以下現下の一問題として世人の耳目を集注せる消費税を一言して以て此の項を終る可し

◇松籟
平福百穗畫伯筆

日報詩壇

○若日臥病　田淵 黍州
病客忍聞花信頻。愁聞啼鳥呼人。三春孤負恨無限。唯有瓶櫻伴此身。
許曰　情景委婉

○桑花　齋藤 三夷
滿地黄金色倍滋。桑花經雨放香時。無多貧得酬春景。不怪蜂蝶狂欲癡。
許曰　託才叙情、如怨如訴

日報歌壇

あづま
庭すみの霧の若葉のおひしげり隣の家がみへずなりけり
寂しさの牡丹話りに咲きにけりいろ〱の蝶が終日遊べり
朝まだき君に贈ると麗しげき庭の牡丹の花を切りにき（長紀君に）

默
ほろ醉ひて唾をなめつゝ見るれば隣の手摺りやゝに冷たし
瓦斯の照る霧の庭を見よと云ふ女郎の腕の白かりしかな

長 城
水色の衣きて來たる姿さへ忘れ易かり牡丹咲ければ
いでゆより歸りし宿のみづみづし牡丹の花を果はたまひぬ

本紙定價　一部金二錢五厘　一ヶ月金五十錢　[illegible]
廣告料　五號活字一行金八拾錢　[illegible]
發行兼編輯人 奥田直毅　印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 合資會社 京城日報社
電話 [illegible]　振替口座 京城三〇〇番

梅村甚太郎著
普通有毒植物誌（四六判洋裝美本 頁二百餘頁）
各地書店に販賣
書中明に植物の形狀より名稱の[illegible]を詳記し卷首に著色版を挿み且つ目錄を擧ぐるの外[illegible]
寫眞版入　正價金壹圓五十錢　送料不要
發行所　名古屋市中區榮町六丁目　名古屋丸善書店　電話長九八五番　振替口座東京五三二七番

各高等學校及諸官立學校入學試驗問題講義
最新版　文學士 瀬川克三編　袖珍美本　定價六十錢　郵税四錢
三十年間[illegible]
[illegible]

農業世界增刊
果物增收法
果樹栽培として有利なるもの及凡ての種類、播種、育苗、栽植、施肥、剪定、整枝、管理、採取、貯藏、病虫害の豫防驅除等に關し極めて親切なる說明を加へ果物の增收に資せる參考書比類なし
六月十五日發行　定價金二十二錢　[illegible]
東京本町 博文館

六月一日より三日まで（三階に於て）
夏衣新柄 よせぎれ 見切反物 大賣出
■六月一日より（三階に於て）
新柄浴衣地陳列會
京城 三越呉服店

六月號
少女の友
公園の起原……女として心得て居らねばならぬ話の種々
四季の歌（新作）……懸賞應募 當選披露
▶美しき讀み物◀
○歷史物語 ○科學小說 ○少女小說 ○長篇小說 ○口語詩 ○動物畫報 ○植物畫報 ○日本名所
小說 三少女……秋田雨雀
小說 幼き心……山田邦子
半年分七冊稅共八十三錢　一冊二十錢 郵稅一錢　東京京橋 實業之日本社

六月號
日本少年
敵艦に沈められた話……遭難ボーイ 森 貞次
私が相撲取を志願した話……横綱 大錦
▶面白き讀み物◀
◎お伽小說 ◎家庭小說 ◎冒險小說 ◎滑稽小說 ◎歷史小說 ◎少年漫畫 ◎芳水の詩
實話 勇壯談……一戶大將
冒險小說 怪頭號……永代静雄
一冊二十錢 郵稅一錢五厘　半年七冊共稅八十五錢　東京京橋 實業之日本社

花よ汝
いたづらに艶なるなかれ
人間の至樂は健康にあり
森永ミルクキャラメル
煙草代用

6—10

支那の形勢

▲段氏の内閣改造計畫 罷免前提示せる

二十三日段總理が罷免せらるゝに先立ち黎總統に提示したる改造内閣の顔觸左の如し

總理 段祺瑞　財政總長 李經義
内務總長 范源濂　海軍總長 薩鎭冰
外交總長 高而謙　教育總長 蔡元培
交通總長 汪大燮　農商總長 夏壽康

▲各省へ段氏罷免通告

黎總統は段總理罷免の顛末を各省に通電せり又段祺瑞氏に通告して曰く「本日責任を解除す尚ほ國事に努めよ」と(北京特電)

▲伍氏政變顛末通告

總理代理伍廷芳氏は二十三日各國公使館を歴訪し政變顛末を通告せり(北京特電)

▲段總理罷免と後任 北京の治安は充分維持さるべし

黎總統が段總理を罷免したるは二十三日以前よりの準備に係り其の結果北京の治安維持策として南苑師團長陳光遠歩軍統領江朝宗氏等の保障を取り 遂に二十三日命令を以て段總理を罷免したるものにて總統は 段總理を罷免せる理由を各省に通達せり尚右命令を二十三日に發表せるは 督軍等の徐州會議開始如何を見計ひたるものにて一方二十三日倪嗣沖、李厚基氏等を懲戒する命令を發する筈なりしも右は一時見合す事となりたり又段氏の後任は徐世昌氏に決定すべきも或は王士珍氏か李經義氏なるやも知る可らず總統は二十四日の議會に於て以上の中一名を擧ぐべく尚北京の治安は充分維持さるべし(北京特電)

▲陸軍更迭と戒嚴令

既報の如く黎總統は二十三日命令を以て段總理を罷免し伍外交總長をして臨時之れを代理せしめ次で陸軍次長張士鈺氏を陸軍總長とし參謀總長王士珍氏を京津一帶臨時警備總司令に江朝宗、陳光遠兩氏を副司令に任命せり尚北京は二十三日戒嚴令を布けり(北京特電)

▲督軍、張勳軍營に協議

徐州より政府側に達せる電報に依れば倪嗣沖等を含める督軍一行十六名は張勳の軍營にありて協議中なりと本會議は時局に重大なる影響ありとは信ぜられず結局行掛り上第二回憲法改正請願を爲すやも知れずと(北京特電)

▲徐張兩氏面會を避く

既に天津に赴きたる各督軍等は徐世昌氏に 面會協議せんとしたるも氏は是を拒絕して面會せざるより已むを得ず去つて 徐州に赴き張勳氏を說いて大に爲す所あらんとせしに氏も亦 豫め天津に打電し 徐州に來る勿れと拒絕せり(北京特電)

別記 各督軍は張勳軍營にありて 協議中とあり本電報と矛盾せり姑く記して確報を俟つ

▲免官不承認打電不明

二十三日午前段總理と黎總統との間に衝突起りたりとの說は當日總統が國務院秘書長と内閣の顔觸れに就き意見を鬪はしたる誤聞にて又段總理が各省に免官命令不承認の電報を發したりとの說も其の後の情報に依れば實ならざるが如し(北京特電)

日本海軍活躍說は事實

めに二回まで魚雷を蒙りて遂に沈沒し百餘名の下士卒行衛不明となれる旨を發表せるが同時に新聞紙は日本も日本……

闘し某海軍武官は語る「運兵船カメロニア號の擊沈は事實疑ひなしと雖らくは事實なる可し曾て新嘉坡在留人の私信に四月上旬即ち獨逸假裝巡洋艦が印度洋に出現せる頃より日本の軍艦にして艦形の雄大なるもの……

▲驅逐艦の掩護(云々に就て)

定なり又獨艦追擊のため驅逐艦の有力なる巡洋艦增加せられ或は印度洋南洋の各要所に日本艦艇の……

▲大活躍を見る

るべき旨を報……海軍進出說の事實らしきを思はしむ日本の海軍は日清戰爭以來今日程勢力の失墜せること無く老朽の一艦尚ほ懸なくとして手放す可からざるの秋に

▲奇蹟的活躍

らず而して獨艇の二回までの襲擊とに戰ひつゝ克く兵の大部分を救濟し得たるに就いては必ずありしを察す……しそ其時期の點より見るも我亦事實の上より見るも英國政府の滿足に値するは疑ふの餘地なしと云ふ可し諸種の事情よりするに日本の海軍が……

▲段免官と張督軍狼狽

二十三日夜段總理罷免の公報到り張督軍は頗る狼狽の色あるも官場は一般に平穩なり(奉天特電)

◎救恤金御下賜 米澤市罹災民へ

天皇皇后兩陛下には山形縣米澤市大火の趣を聞し召され御救恤の爲め金四千圓御下賜相成りたり(東京特電)

◎兩宮御使宮相訪問

李王世子殿下陸軍士官學校御卒業に就き御祝の爲め來京せる德壽宮御使金春基、昌德宮御使李秉武子の兩氏は二十四日午前十時波多野宮相を訪問せり(東京特電)

◎外交問題凝議

上原參謀總長、大島陸相、本野外相は二十四日午前十時寺内首相を官邸に訪ひ數時間外交上の重大事件に關し鳩首凝議せり(東京特電)

◎鐵道院副總裁

二十四日左の如く辭令ありたり(東京特電)

正四位勳二等 中村是公
任鐵道院副總裁(一等)
鐵道院副總裁 古河阪次郎
依願免本官

◎吉會鐵道急設請願 清津

府民は二十三日夜市民大會を催ほし吉會鐵道急設に付き協議せるが其の結果請願委員を選びて東上せしめ政府に請願せしむることに決し委員は近く出發東上すべし(清津特電)

◎ラ氏の對支忠言

頃日朝鮮を經て北京に入りし紐育日本協會々長ラッセル氏は北京に於て北京ガゼットの記者が日本の對支態度如何との質問に對し概要左の忠言的談話を爲せりと

△日本の支那に對する態度は今や官民の別なく親善和協と言ふに一致し居れり吾等局外者より之を見るも日支兩國は東亞に於て相隣接する自然の位地より正に爾かあるべき者なりと思惟す

△然るに今日迄で事實の相然らざるは果して何に職由するか、蓋し其親善和協は兩國の利益にして且つ支那の爲め更に有益の事なりと信ず、何となれば支那は日本と疎隔して相離るゝ丈け危險に陷るの度合を增加する者あればなり

△支那人は日本の禍心を包藏するなきやとの猜疑心ありて日本に信賴する能はず、日本人も亦た支那人の不信を云爲するが如し是れ雙方の不親善の理由此點に在りとせば宜しく之を正だすに於て何の憚る處あらんや宜しく相互隔意なき交換に依りて其の疑惑を除去すべきのみ

△事茲に出でずして兩國長く不親善の狀態に在るは兩者の熱心足らずと言ふべく愛國の手識缺乏せりと稱せざるべからず、吾等は日本の輿論が正に和協に傾ける今日を以て該問題の解決上絕好の機會なりと信ずる者なり

△支那人は目下頻りに米國の大資本を輸入せんと欲するが如きも支那が日本と親善し其同意を得るに非ざれば米國は決して大資本を降ろすことなかるべし、米國は現在支那の如き監督なき國に對して大資本を降ろすの危險を踏まずとも南米の如き確實の投資先を控へ居れり、去れば支那にして米國が大資本を仰がんと欲せば先づ日本と親善し日本の監督保證を享けざるべからざるなり

◎朝鮮醫學大會

朝鮮醫學大會は來る六月二日三日の兩日間總督府醫院構内醫學專門學校樓上に於て開催され醫學に關する出席者各自の學術演說ある筈なり而して朝鮮以外よりは滿洲より小口博士、小津學士、松井學士九州大學より宮入博士京都大學より松下博士等出席すべく尚入京を機として藤田軍醫總監も出席の筈

◎慈惠院長會議

全道慈惠醫院長會議は五月三十日、三十一日の兩日間總督府醫院樓上に於て開催さる可し

◎青島麥酒會社 買收の顛末(三)

大日本麥酒會社 京城出張所長 吉田勝次郎氏談

◎競爭の終結 ○○○○ 偖ユニオンビールも隨分永く戰ひましたが品質が惡いと云ふので少しも需用がなくキリン、カブト、サクラも何う云ふ譯か全然手を引く事となりまして遂に青島ビールと我アサヒ、サッポロビールとの一騎打の競爭になりました所が大正三年に日獨戰爭がおつ始りまして青島は我軍の手に歸し青島麥酒會社も止むを得ず一時醸造を中止せねばならぬ事となつて爾來十年間互に凌ぎ合つた支那全土は全く我アサヒサッポロの勢力範圍となつたと云ふ次第で今日に於ては轉た今昔の感に堪へません

◎戰時中の青島麥酒 ○○○○ 偖青島麥酒會社は日獨戰爭中日本軍に包圍されながらも盛に麥酒を醸造して獨逸軍に麥酒を供給して隨分と士氣を鼓舞したものですが青島の陷城と共に同社技師職員一同は我軍に關係があつたと云ふので日本に捕虜となつて行つて了つたので一時會社も全然閉鎖の姿でありました戰爭中青島麥酒會社は日本軍の砲彈で破壞されたとか煙筒が日本軍の目標となるので取り毀されたとか色々の噂もありましたが陷城當時私も軍の許可を得まして第一番に此の工場を取調べに參りましたら破壞所が完全無缺に殘つておりまして何等損所がありません只大砲の流彈が二箇所程み貫いた迄で之は民間の建築物は一切破壞せぬと云ふ我軍の有り難い情であつたのです私の同社に訪づれたのは技師達が私を穴倉に案内してビールの醸造をして日本軍の射擊の正確には驚いたと云つてなりました開城後日本軍も何うかして此の會社の營業を差止め度いと種々と苦心せられましたが内實は兎も角表面は同盟國たる英國の會社となつて居りますので何うする事も出來ず全く手の出し樣もありません

◎英國人經營に移る ○○○○ そうすると前申上げた同社株主の三割を占めてをる英國人が奮起しまして少數ながらも技師などを雇入れ英國の旗を屋上に高く翻し盛に麥酒を醸造しまして再び我麥酒と競爭の姿となりました我軍政署でも折角占領した青島に黑煙高く空に聳き外國の旗の翻へるを見ては默つてる譯にも參りません再々政署でも種々御協議の上日英公使や國際法問題等も研究されましたが何分英國と云ふ名義ですから何うする事も出來ず寧ろ日本人の手に買收さしたが可からうと云ふ事になりまして早速三井物產會社を通じて我社に御相談があつたのです

◎買收交涉開始 ○○○○ 之れが抑々の初りで時に大正四年の九月でありました我社でも此の當局の御勸めで一國家の爲になり國益を圖る事が出來るなら敢て會社の利害を論ずる場合でないと官廳の交涉を重ねて見よとの社長の命令で大正四年十一月に私獨りで同社を訪問し更に翌年二月に武重役と橋本技師長と私との三人が正式に軍政署に乘り込んで交涉を開始すると共に工場の實地調査を始めたのですが工場は市外モルトケ麓の山腹にありまして敷地約一萬坪の此の内部の實地調査は橋本技師長が局に當りまして私共三人は上海に參りまして三交涉の結果二ケ月程滯在して漸く假契約に調印して一同引上げました

◎買收契約成立 ○○○○ それから昨年八月に先方の重役も株主總會を召集しまして愈々任意解散して同社工場を讓渡すと云ふ事を全會一致で決しものですから私の方も武内重役を使正識しとて永井工場長と私とが隨行して引き取りの爲に當り同九月十六日に法律上確實に我社の有に歸しまして私は其の儘商務課長として同地に在勤を命ぜられ本年二月迄同地に在勤しておりましたが私の方も微力ながら私の奮闘した樣な次第で今度當地に轉任して參りましたで片見ですから全く忘れる事は出來ません是非此の朝鮮でも買り擴め度いと思つてなります

◎醸造を開始す ○○○○ 偖引取つた青島麥酒會社も永らく手入れを怠つてなりましたものですから早速機械の修繕部除やら樽の手入やら多くの人を派出しまして念に念を入れ出來得る限りの力を盡し大掃除をやりまして昨年十二月吉日を卜し茲に芽出度日本麥酒の初仕込を致しましたのです其れが五月上旬に愈々出來上る事となり早速當地にも近荷入荷する筈です(完)

◎全南地主會開會 全南地主

會は二十五日午前九時より光山郡に於て開會の筈なるが當日は佐藤會長、富家曹副會長外評議員代議員三十餘名出席宮木長官も亦臨場すべく議事は左の如し(光州)

▲評議員會 議第一號大正六年度豫算、議第二號地主會の經費及事業に關する件▲本會議事 議第一號大正五年度決算報告、議第二號大正五年度事務報告、議第三號大正六年度豫算、議第四號各郡島地主會經費及び事業に關する件、議第五號實行獎勵事項、議第六號名譽會員推戴、鐘田技師談話、代議員談話(會員中一行事項實行の狀況)

◎警務部恒例會議 京畿道警

務部にては二十五日午後一時府内各警察署長を召集し恒例會議を催ほし衛生其他に關し討議する筈なるが仁川署長も列席すべしと

◎長澤葡萄王 水著

既記の通り米國カリフォルニアに於ける葡萄王長澤鼎氏一行は二十四日午前釜山發京城へ向ふ途次水原に下車視察の上二三日中に入京の筈

◎松永長官視察 松永京畿道

長官は道勸業主任小松事務官及び大村書記を隨へ往復二日間の豫定にて二十四日朝京城發江華郡管内道路敎育衞生其他一般狀況視察の爲め出張したるが二十五日午後歸任の筈因に松永長官は就任以來這回にて管内各府郡を一巡したる譯なり

◎藤田總監入京期 前總督

府醫院長たりし軍醫總監藤田嗣章氏は二十三日東京驛發京城に向ひたるが途中多少の日子を費し來る二十七日頃入京の豫定なりと

◎近藤主計正出張 京畿道憲

兵隊本部附近藤主計正は二十四日午前京城發水原、利川、驪州、議政府、楊州、漣川各管内會計事務視察の爲め出張したるが來る三十一日午後歸任の筈

◎山口高商生入京 山口高商

等商業學校修學旅行團約五十名は二十四日午後七時三十分入京し二十五日は京城を二十六日は仁川を視察し二十七日朝南大門驛發歸校すべしと因に一行中約十名は二十五日午後四時より龍山鐵道局コートに於て鐵道庭球團と仕合をなす由

◎驛名驛改稱 本月二十一日よ

り岩越線『若松』驛を『會津若松』と改稱したりと。

◎連帶線營業開始 山陰本線石見大

田驛より五十猛驛を經て邇摩驛に至る約七哩間は本月十五日より一般營業を開始したりと

◎朝鮮造兵廠設置目的 主として修繕事業=一般職工は鮮人より採用する方針なりと

特別議會に提出さるゝ陸軍豫算五百餘萬圓中二百萬圓を占むる朝鮮造兵廠設置の目的は各種兵器を製造せんとするに非ず從來朝鮮並に滿洲にある我が軍隊の兵器は一々之れを内地に輸送して修繕し來れるを以て斯くては應急の間に合はず又輸送の爲め經費を要するより寧ろ朝鮮に於て爲すに如くはなく依つて右は主として修繕事業を爲さん爲め計畫されたるものにして幹部職工は東京、大阪の兩砲兵工廠より分配すべきも他の一般職工は之を朝鮮人より採用する方針なりと(東京特電)

◎滿蒙鑛山調査 三菱鑛山部の計畫

三菱會社鑛山部は滿蒙の鑛山を調査して大投資を試むべく技師數名を派遣せるが近く奉天を中心として調査を開始する筈なり(奉天特電)

◎堂島立會停止

大阪堂島は熱狂相場の爲め立會を停止せしが隱れたる買方主力筋は三品筋なりと(大阪特電)

人事消息

▲市川第三十九旅團長▲谷澤憲官 二十四日夜入京天眞樓へ
▲久我清廣氏(鮮銀安東支店長) 同上不知火へ
▲飯泉幹太氏(鮮銀國庫課長) 二十四日夜歸任
▲久保田積藏氏(鮮銀吉林支店長) 二十四日夜退京
▲茶谷保三郎氏(貿易商) 同上

■南言北語■

段總理は愈々各督軍の勸告にも從はず斷然總理の椅子を去つたらしい▲之れで行き詰つて居た北京の政局も何とか舞臺が廻る筈▲一體今度の督軍對民黨の政爭は民黨の方が餘程旗色が好い樣だ▲督軍派から見ると彼の議院騷擾事件でも來る筈であつた張勳は來ず▲保定の第三師は曹錕の異論で出動せず▲政策離隔して遂に外交問題を提げて民黨を壓迫する事は出來なくなつた▲其處で北洋系の安徽派は再び各督軍を強ひて今度は内治問題を提げ▲憲法改正に藉口し國會の解散を要求する手段は露骨になつて來た▲此の民黨壓迫の魁は倪嗣沖一派である事は世間の見る通り▲近く督軍が連袂徐州に赴いたのも無論張勳引出しの魂膽であらうが▲其の背後に活動して居るのは帝政派の段芝貴、曲同豐、靳雲鵬、傅良佐などの先生を始め▲帝政策士が暗中の大活躍勿論其の目的は北洋系安徽派の地盤を固め▲以て一と仕事と云ふ計畫だとの評判▲斯う妙に入り組んだ處へ段君の辭職と來たから問題は大きくなり相だ▲段君は無論安徽派だから其の行動は大分世間から注意せらるゝ▲其の上黎總統の免官通告に對して段君は免官は認めずと主張して居るいか▲何となれば辭職と免官は大分相違がある死んでも名目を重ずる支那に於ておやだ▲愈々面倒になつて來そうなぞ▲今此處で北京へ澤山の兵隊を入れやうものなら其れこそ事だらう

▲暴風警報(二十四日午後九時發)

風强かるべし▲低氣壓の位置北滿洲▲同示度七五〇粍▲進行方向東▲記事南風强▲警戒區域咸鏡南北道沿岸 ▲警文……

北里研究所部長 醫學博士 志賀潔先生校閲
田中丸病院長 醫學士 田中丸治平先生著

新刊 狂犬病論 全一冊

菊判洋裝本綴美麗 正價金壹圓五拾錢 郵税内地八錢 鮮滿朝支十四錢

目次=總論▽狂犬病に關する文籍▽疫學△狂犬病發生。傳染徑路。素因及誘因。季節及土地。咬傷の危險。本邦に於ける狂犬病流行。歐洲に於ける狂犬病流行▽狂犬病の本態▽ネグリ氏小體染色法。狂犬病毒。毒の侵入口。狂犬病毒の抵抗。動物試驗▽動物の狂犬病▽犬の狂犬病。兎の狂犬病。牛の狂犬病。馬の狂犬病。猫の狂犬病。豚の狂犬病。羊。山羊の狂犬病。家禽の狂犬病。鼠の狂犬病▽解剖的變化及組織的變化▽人の狂犬病▽潛伏期。狂犬病の症候及び經過▽診斷▽加害獸の診斷法▽豫後▽公衆的豫防法▽衞生警察規則に據る狂犬病傳播の豫防取締規則▽傳染前豫防注射法▽個人的豫防法▽傳染部に於ける狂犬病毒の減毒。姑息法。傳染後の豫防注射法。パステウール氏。佐藤氏豫防注射法。ヘギエス氏稀釋毒豫防注射法。他の豫防注射法。狂犬病豫防注射法實用的技術▽發病後の療法▽リテラツール

醫師獸醫殊に公衆警察醫には缺く可からざるものなり

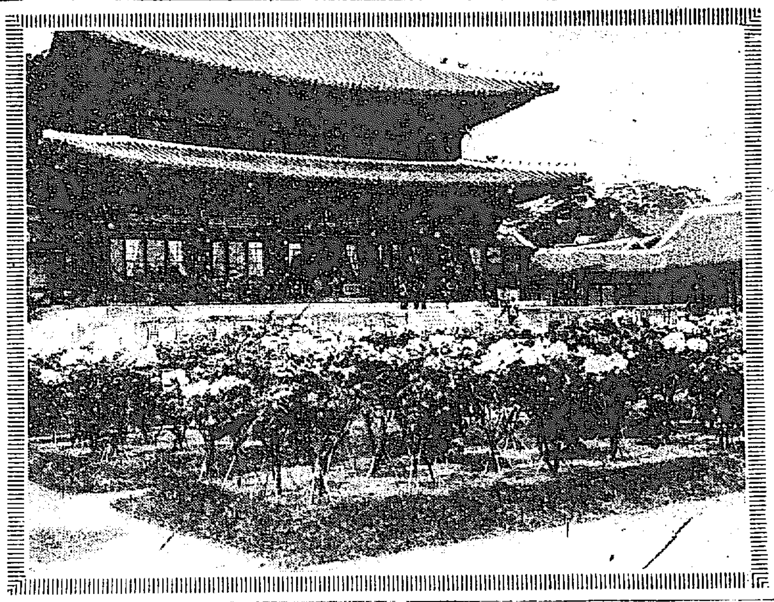
發行所 東京市本郷區龍岡町 吐鳳堂書店
發賣店 京城本町一丁目 大阪屋號書店 電話二〇八六番。六八四番●振替京城二五七三番

民事刑事商事人事及特許事務一切ノ依賴ニ應ジ懇切ニ執務ス
事務所 京城明治町二ノ一〇五(支那領事館前通)
辯護士 特許辨理士 法學士 榎本隆 (電話二八四四番)

賜天覽 帝國百科全書
大增補第六拾 貳版愈成る!! 普通書肆の企て及ばざる破天荒の月賦販賣
伯爵土方久元閣下題辭 帝國教育學會編纂
菊大阪最新式活字 二千百餘頁 (一般通活字を以てすれば七千餘頁となる) 總クロース 金文字入美裝
定價金五圓也 特價貳圓八拾六錢 (外に送料内地十六錢支那四十五錢臺灣樺太三十五錢)
内容は何れも現代數十碩學鴻儒が半生心血の結晶にて現代國民の必要缺く可からざる社會萬般の活智識を網羅す茲に本書販賣部廿萬部に達したるを紀念として破天荒の特價二圓八十六錢而も三ケ月月賦の特典を提供す但第一回は一圓八十四錢及送料の拂込者に對し即時送本す(後五十一錢宛二回送金)
各編目次 皇室、宗教、哲學、政治、外交、法律、經濟、軍事、内務、交通、拓殖、移民、社會、教育、歷史、地理、理化學、博物學、文學、語學、作文、和歌、俳句、漢詩、習字、工藝、數學、天文氣象、航空、航海、農業、園藝、林業、牧畜、養蠶、養蜂、漁業、商業、工業、建築、造船、家政、生理、衞生、衣食住、裁縫、手藝、料理、茶道、挿花、式作法、香染、能狂言、謠曲、圍碁、將棋、柔術、劍術、相撲、運動遊戲、易占……
編纂發行所 東京市下谷區西町三 振替東京四武壹八番 帝國教育學會

廣告
強度 苛性曹達 (NaOH 97%—98%以上)
工業用 晒粉 (鹽素含有量三五度乃至四〇度以上の強度品 白霞 白鷹 白鶴印 三種あり)
外に 硬化油 (石鹸グリスリンの原料其他手蠟代用品)も不遠發賣可仕候
世界最新式の電氣分解水銀法に依り製造せるものにして製品の品質優良なるは此の法の特色也工場は朝鮮に一葦帶水の地にあるを以て輸送上尤も便宜にして迅速也
大正六年五月
大阪曹達株式會社
工場 小倉市外日明
本社 大阪市北區堂島濱通

英國の政府新聞局は英國運送船カメロニア號が陸兵看護婦千數百名を載せ地中海を航行中獨逸潛水艇のため……示して克く千餘名を救助し從來の救助効果の新記錄を造れる旨を述べ孰れも多大の賞讃を呈せりと云ふ右には我海軍省の發表なきを以て眞僞遽に斷ず可からずと雖も英國政府新聞局員の談なりと傳へらるる以上は恐當海上に增加し更に有力なる驅逐艦隊は近々地中海に進出して英海軍と協同作戰の下に對獨防禦策を講ずる豫じ來りしことあり當時は此通信も一片の噂ならんと信ぜられしに今右の報知を見て考ふる時は如何にも地中際し果して幾千の艦艇を英國に派遣し得るや孰れにしても一運送船の護衛に二隻以上を用ふることある可かるに鑑みからず右の報道にして事實ならば我海軍は非常なる犠牲を喜んで同盟國のために捧げつゝあるものに凡に地中海方面に活動を續け來れることは今や殆んど疑ふを要せざるに似たり」云々



◇昌德宮秘苑の牡丹見—二十四日午後一時—

●仁川の築港 ＝には異口同音に感嘆す＝

間島視察團一行の仁川視察 李團長と楠野府尹との懷舊談

間島視察團一行は二十四日午後一時四十分仁川驛着驛頭には松元署長、平田觀測所長、府協議員、學校組合議員商業會議所職員其他數十名の出迎あり李團長は一應の挨拶を爲したる後府尹代理及び仁川警察署庶務部の案內にて府廳に到り、樓上にて楠野府尹より

◇仁川府の現狀に◇

就いて簡單なる說明を受け後茶菓の饗應があつた其の際李團長や李警部は楠野府尹と舊知の間柄と言ふので懷舊談が交換された、其時府尹は、『李熙直氏は僕が統監府派出所に勤務して居た時代一進會員として日本の爲めに

◇大いに盡力した◇

人で他の、團員中にも見覺ゆのある人もある』と言つて居た其れから一行は觀測所に行き氣象學及び觀測機械に付いての大略の說明を受けた聽て一行は仁川港內外の風光の雄大にして明媚なるに嘆賞の眼を瞬つて飽かず眺めて居たが之れが

◇何によりの馳走◇

であつたらしい觀測所を辭して穴門から築港に出で潮流の干滿の關係から閘門式築港の計畫された目的等を採揉んで說明され其れから現場に案內された、恰も閘門は取附工事中で數十尺の鐵門が左右に開閉され四千噸の大船が出入すると云ふ說明を聞くと

◇異口同音に感嘆◇

して、海の底にあると云ふ岩壁を攀でて見たり隧道の樣な排水口を出入して見たりした、五時からは仁川官民有志の發起に係る仁川ホテルの歡迎會に臨み席上主客相寬ろいで歡談を交へ同七時發の列車京城へ向つた

□牡丹の宴

＝李王殿下 總督以下御招待＝

昌德宮內仁政殿前庭の牡丹園は王家の多年苦心培養せる處だけに有ゆる優秀なる品種を蒐集し他に其の比を見ざる一大牡丹園にて昨今各種の牡丹咲き揃ひ濃艶芳薰殿前に充ち得も云はれぬ眺めなれば李王殿下には廿四日午後零時三十分より長谷川總督、山縣政務總監、秋山軍司令官、立花師團長、總督府官房職員を招待して漫々と咲き盛りたる牡丹花を賞し主客歡を盡して二時頃散會したるが午後三時より王妃殿下には同所に朝鮮貴族夫人李王職次官以下各事務官夫人を招待して牡丹見の宴を張られたり

●吳服商人の恐慌

米澤市大火の影響

山形縣米澤市大火の爲め大阪の吳服商人は恐慌を來し居れり（大阪特電）

●三菱製革會社工場全燒

二十四日朝滋賀縣大津市松本町三菱製革株式會社工場より出火し同工場全部を燒失せり損害四萬圓の見込なり（大阪特電）

●水管自動車配置

曩きに京城商業會議所京城府等に於て盡力の結果若草町藤井慶太郎氏外三十四名よりの寄附金を以て購入京畿道警務部に寄附せる水管自動車は去る十四日附を以て總督府より受領許可の指令あり二十二日それぞれ寄附者に對して右の趣きを通知したるが水管自動車は南大門消防所に配置する事となれりといふ

●名古屋の六人斬

嫌疑者を拘引取調中

二十四日午前二時名古屋市醫師寺倉文之助方にて六人斬りの椿事あり一名は即死し他は重傷を負ひたり警察にては同家書生阪口伊吉及び下男福足三郎の二名を嫌疑者として拘引目下取調中なり（大阪特電）

●全北の火事

二十二日午後七時頃全北淳昌郡茂林面花堂里に出火あり農家十戶十三棟を燒失し家具雜穀等損害合計一千五百圓に達し人畜に死傷なかりしと（其筋着電）

◇車中の內山侍從武官長

四月廿四日釜山上陸以來、北の鴨綠江から豆滿江まで聖旨傳達の重任を帶びて全鮮の軍隊を巡視した內山侍從武官長は、いよいよ其任務を了へて廿四日の朝の汽車で內地へ向つた。急行列車の最後部、廣い貴賓室內の大將は纖綾の眼鏡あくまでも質素に、胸間には旭日大綬章と侍從武官章の錦旗のしるしが窓ごしの日光に輝やく『私は朝鮮ははじめてぢや、その前歐羅巴へ行つた時に二三度汽車からのぞいた事もあるが這回は一箇月かゝて方々を見た……』折からフロックコートの屬官新井金次郎氏が南大門で受取つた澤山の名刺を差し出す、それに驛々では勳章を佩びた軍人が直立不動の敬禮をする、また永登浦驛では京城在鄕軍人分會長小林豫備大佐が白い手をあげて敬禮し去る。汽車は飽までも謹嚴な內山侍從武官長をのせて南へ南へ驅つて行く。猶ほ大將より畏こき邊りへの獻上品には朝鮮產の松の實、栗、胡桃、亞米利加防風の類が大事にくゝ携行されると承る（二十四日水原驛にて一記者）

●加藤神社祭禮

二十四日龍山の賑ひ

龍山加藤神社にては二十四日午前十一時より春季大祭を執行したるが祭式終るや午後一時より境內に於いて龍山有志の素人角力あり夜に入つては有志寄進の筑前琵琶、淨瑠璃等あり更に花火の打揚げなどありて參詣頗る多く晝より夜にかけて大いに賑はひたり

●小娘を喰物に

不埒なる飲食店主

熊本市生れ京城北米倉町居住飲食店營業末廣ちわは飲食店營業規則に雇女に對して二十圓以上の前借金を貸すことを制限されあるにも拘らず三月八日兵庫縣津名郡山良町生れの作田まさ（一九）に前借金四十五圓を貸して棲み込ませ收入は雇主と折半する契約となしたるも甚だ惡く卷揚げ尙まさは雇主より酷使さるゝを厭ひ他家に鞍替へんとする模樣なるよりちわは自家の娘の著古せし衣類を四十七圓に無理賣りに著用せしめて働かせ居るも收入思はしからざるにより山田うめ（二一）及び中田りき（二一）といふ啞娘をも自家に引込み自宅附近に溫突一間宛を間借りさせ客を取らせ居るを遂に警官の探知する所となりちわは此程本町警察署に於て飲食店營業取締規則に依り本月十九日より向ふ一箇月間營業停止を命ぜらる

●便所から大金

竊賊市場で捕はる

全南光州花園町米商鄭萬起方にては二十日夜現金百五十七圓八十錢の盜難に罹りたれば直ちに其由を光州署に訴へ出でたるより犯人搜索中二十三日朝に至り市場に張り込み居たる刑事は市場にて擧動不審の鮮人を發見し直ちに捕へて本署へ同行し取調べたるに此奴は瑞坊面虎頭里（監獄裏手）居住崔連賢（二九）と云ひ直ちに同人方を家宅搜索の結果便所の屋根裏より紙幣銀貨取交せ百二十圓を發見せしかば之を押收して引揚げしに今は包むによしなく一切を自白せしが三十餘圓の不足は市場に於て米其他を買ひて消費したるものなりと

◇北鮮地方の櫻花

この頃漸く綻び初む

南鮮地方にありては早や葉櫻を賞づる今日此頃北鮮にありては漸く櫻花の綻びを見る南北氣溫の差著しきを今更に感ぜらるゝなり北鮮地方にては內地又は南鮮地方より苗木を取寄せ植樹せしものは殆んど活著せず從つて見るべきものなきも沿岸なる西水羅、梨津、漁太津及び鬧地にても吉州郡、會寧郡等の驛館所に在來の櫻樹少なからず中にも西水羅、梨津等のものは芳花の艷麗內地のものと異ならず往昔北鮮と裏日本との交通時代の遺物なるべしとの說も首肯さるなり（清津）

●密輸船の難破

本年四月二十七日夜半雄基港在住金泰淵外五名は共謀して一漁船に酒精五十一箱（價格六百五十餘圓）を積込み露領に密輸せんと出帆せし所折柄暴風起り大時化となりたる爲め其目的を達せず海上を漂流しつゝ遂に此程雄基附近の海岸に漂著せし所を巡査に發見され遭難船として救助されしが取調の結果酒精の密輸を企てたるものと判明し目下取調中なりと

●敵娼を殺して自殺

京都府伏見大手筋町五丁目藤井仲平（三一）は馴染なる京都市北新地娼妓奴（二一）を刺殺し己れは疏水に投じて溺死せり（大阪特電）

●兇賊公判に附さる

全南羅州郡鳳皇面擔上里鄭花九（三九）同旺谷面興滿里李行順（三〇）同面九川里朴德天（三二）の三人は元暴徒の群に投じ四十一年頃李順興及び旅人金奉五を火繩砲にて射殺したる事發覺して先頃其筋の手に逮捕され光州地方法院檢事局にて取調中の處愈々公判に回付され近く開廷の筈なりと

●飛降りて負傷

二十二日午後二時頃京城電氣會社の龍山行六十四號電車が南大門通五丁目を進行中通洞居住大工李泰榮（三三）が飛降りをなして後頭部に治療二週間を要する打撲傷を負ひセブランス病院にて應急手當を受く

●狼に咬まる

全北南原郡黑松面沙村里陳季祥の二男貴南（六）が去る四日午前十一時頃同里裏手なる小松山にて附近の鮮童等と共に遊び居る處に何處よりか一疋の狼突然躍り出で貴南の脚に咬みつき肉を喰ひ取りて逃走したるが他の鮮童の通知に依り里民驚いて其の狼を追跡し又た急報に接したる南原憲兵分隊より憲兵現場に出張し被害者貴南は同地公醫の手に送りて應急手當を施こし里民五十餘名と共に狼の搜索に力めたるも所在判明せざるより同分隊にては近日中同地特別狩獵者を召集の上右狼の狩り取りを行ふべしと

●六百餘圓詐取

京城南大門通五丁目下宿業崔弼燮（三二）は五月一日忠北槐山郡靑川面江坪里朴東憲より預かりたる重石二十一貫を蓮茶町三丁目鑛物貿易商布藤某に抵當に入れて金五十圓を借りて消費し昨二月中には忠北淸州市場町崔炳基より同人の地所を抵保とし金一千三百圓の借入れ周旋方を依頼され始興郡安養の李世鉉より一千三百圓を借用しながら七百圓だけ受取りたりと詐稱して差額金六百圓を橫領したること發覺して本町警察署に檢擧さる

●鐵道高商庭球仕合

豫て申込中なりし山口高商庭球選手と鐵道選手との庭球試合は廿五日鐵道グラウンドにて行はる筈なるが高商選手は大連其他滿洲各地を轉戰し敵手を撃破し來れる選手なれば鐵道との競技は頗る猛烈なる可く若し鐵道にして破れんか滿鮮の覇權を握られ大陸運動界の體面に關はるゝに至る可し

◎高等女學校の休學

高等女學校生徒中たり過日猩紅熱患者を出だせしに因り同校にては今週中授業休止中なりと

◎仁川追悼閣茶會

仁川故村谷吉藏氏一週忌に相當するを以て有志者相計り來る二十七日日曜日午後一時より西本願寺にて追悼法要を營み終つて閣北台た傍寸山閣に於て茶會一圓にして村谷氏より寄贈品あるとの事（仁川）

えんげい

回スペクトロー

大正館にては二十五日より全部新寫眞と差替へたるが主なるものは探偵活劇『スペクトロー』全四卷にして其の筋は頗る面白きものありその他の寫眞は如左 ▲實寫ゴーモン時局畫報▲喜劇綠道局の狼狽▲滑稽活劇コンクリンの感遊び全二千呎▲新派悲劇盲目變者全三卷▲探偵活劇『スペクトロー』全四卷▲新劇親不知子不知の離所浪間の仇討全三卷

回黃金館

新劇座安太郎全六十二場、冒險劇ポーリン、新派悲劇盡きせぬ縁にて本社の優待割引あり連夜大入を續け居れり

回有樂館

例の特別興行の二大寫眞『大尉の娘』『紫の覆面』にて連夜大入を續け居れり本紙讀者は各等半額の特典あり

回壽座

大阪歌舞伎中村扮升一座にて開演中

回御成座

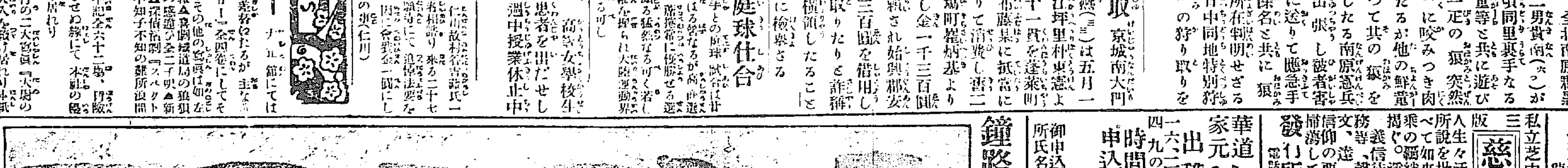
新派劇國友美團一行にて開演中

一、建築用軟鋼鐵 一萬五千貫
外各種金物數十點
供給望ノ者ハ本月二十二日朝鮮總督府官報並ニ當所門前掲示ヲ見ヨ
大正六年五月 龍山步兵營直營工事々務所

私立芝中學校教頭石塚龍學著
慈悲之宗教
四六版總クロース全一冊三百六十頁 定價一圓 郵稅八錢
人生々活の本義に據りて佛教各宗の所說を批判し、釋尊出世の本懷を述べて如來無盡の大悲を顯はし、古宗乘の羈絆を脫して眞宗教義の精髓を掲ぐ。淨土建立の目的、其の理想、稱名念佛の義、信徒行動の理想、其の社會的本務等、遂に醇して說かざるなし。平易文、遂しの解よく佛教の粹たる彌陀信仰の要締を提唱し、讀者の疑雲を掃蕩して光風霽月の思あらしむ。
發行所 東京市小石川區表町百五番地 教報社 電話小石川三〇七番 振替東京一九八三番

華道 立華生花 家元 池坊 教授
出稽古日割 一六、二七の日龍山。三八、四九の日永登浦。五、十の日京城。の日仁川
時間 自午前九時至午後十時
申込所 新龍山漢江通 今井秀甫
御申込の方はハガキにて町名御住所氏名明瞭に御記載の事

鐘路支店新設披露
新型夏帽子大賣出し 二十五日より三十一日まで



地方 御注文は迅速安全代金引換送付
朝鮮に於て帽子專門の元祖
ミナト帽子店 本店 鐘路支店 南大門支店 卸部
本店 本町一丁目 電話二六〇九番

▲山縣五十雄 村上唯吉共著
富の道しるべ 價十五錢 郵稅二錢
京城太平通 振替三〇〇番 京城日報社代理部

婦女界 六月號
婦人內職號
內職は卑しむべき乎 鳩山春子
▲內職は時節柄大いに奬勵すべし其の痛快なる御意見
是からの婦人の覺悟……棚橋絢子
家庭の改良を促がす三ヶ條……三徳みか子
癲癇及び痙攣の徴候と其手當……吉田學士
妊婦及び授乳婦の食料は如何が良き乎……澤村博士
種々の難産を取扱つた經驗……石渡產婆
內職をして居る經驗
月十圓以上になる太陽燈料の帽子組み……笹野
月十圓は樂に得らるゝ眞綿紡み……まつ子
最も文明的の家庭內職……千草
內職に琴を教へて失敗した昔と今……小夜子
世間から重寶がられるかけはぎの內職……一老婦
中流の奧樣方に恰好な內職……千代子
案外に收入多き提灯張の內職……弥生女
絞染めにする絞りの內職……とし子
坐つて居て樂に出來るバテンの內職……紫陽花
輸出向レース編物の內職……撫子
果物店を開いて成功する迄の苦心……丸田
無駄な使ひ手はない茶簞笥机の工夫……井上くら
家庭で出來る木綿の紺染法……延村子
主婦の讀物
初夏にふさはしい着物の色取……ふたば
子供に適した雨合羽の作り方……津田敏子
家庭常識禮法問答……市守謹吾
頸筋や手足を美しく手入する法……北原十三男
家庭向の作り方（家庭園藝）……セイ、ワイ生
磁器は斯うして造り斯く使用さる（圖解入）
六月頃の一週間獻立……龜井まき子
季節向の和洋折衷料理……服部良一
破產の爲に覺醒した家計（我家の經濟）
家庭の實驗いろいろ……△家庭小話……
家庭小說 世間 本誌にのみ執筆さるゝ大評判の小說 柳川春葉
本日出來 ▲一冊十七錢稅一錢半 ▲半年分一圓十三錢 ▲一年分二圓十五錢
東京牛込加賀町一 婦女界社 振替一二〇二八三

稀代の大探偵劇は
本日より封切提供
英國ヒシヨツプ會社最近移入品
魔？人？變裝自在！
スペクトロー
野村雅延、藤島保 得意の說明
徹頭徹尾驚嘆すべく、狂喜すべく、戰慄すべき震天動地の大冒險大活劇
入場料 特に普通
大正館

料理の友 六月號要目 美麗なる彩色寫眞數十及寫眞版等百餘個を挿入す
新時代の家庭生活 東郷博士▼今後の食料問題 鶴見左吉男
歐米の家庭と菜食 三島通良男▼料理思想の根本的改革 元田久子
夕飯の改良意見 大江すみ子▼日本料理の缺點 稻垣博士
美味滋養の新豆料理七種 日曜日の晝餐に洋食の御馳走……
最新研究馬鈴薯料理十種 新式家庭晩餐獻立
有合せの乾物で出來る面白い西洋料理七種 上品な家庭菓子七種
氣のきいた初鰹の料理 お格好な酒の肴六種 粹な京都料理七種
新案豆腐料理六種 食通の喜ぶ東京料理
梅雨時にも安心の出來る日々のお辨當 嶄新な苺料理
誰でも喜ぶ初夏の飲み物 家庭で出來る美味しい肉パンの製法
一冊金廿錢（毎月一回）
申込便法 八錢切手代用の際は一割増 一ヶ年分の御送金ありし方へは本誌一年分進呈す
發行所 東京市本郷大日本料理研究會 振替東京二三四九八

花筐(はながたみ)

(五)

松田竹の島人作

花が咲き衿つて凋落するのと同じやうに、人生に盛者必衰は免れなかつた。さしも全盛であつた源平が、半年ばかり前から、ぱつたりと賣れなくなつて、毎もお茶の挽き詰めであつた。

源平はそれを苦にし始めた。苦にすると、何時とはなしに顔に痩せが見ゑて、偶々座敷へ出ることがあつても、何んとなく影が薄いやうで、陰氣であつた。だから客から厭やがれる、從つて彌々賣れなく爲るのであつた。

源平は、勝氣で神經質であつたから、賣れなくなつたことを苦にするだけ、後には氣病みのやうに爲つて一室に閉ぢ籠つて、沈鬱いでばかり居るやうに爲つた。

抱へ主の龜本の女將は、源平に返り花を咲かせて、以前のやうに自宅の金函に爲やうと思つた。だから何處か湯治にでも往つて、身體を癒しては什麼かと侑めたのであつた。けれども源平は半年ばかりも、碌々稼がずに居たから、湯治に往つて、此上餘計な入費を出させるのも氣の毒だと思つたから、老父のところへ往つて、暫くの間靜かに其日を送つたら、入費もかゝらずに、身體が癒るだらうと云つた。

龜本の女將が、湯治を侑めたのは心の底からの親切でなく、然うでも爲たら、氣鬱病も癒つて、以前のやうな賣れつ子に爲るだらうといふ慾得の上からであつたから、湯治に往くよりも、山の内の老爺のところで、鬱結した頭腦を癒すことが能きるならば、入費もかゝらずに可いと思つた。

『山の内のおとつさん處へ往くも可いけれど、鹽塚さんのことを思ひ出して、一層身體が惡るく爲るやうなことはないの？。』

龜本の女將は、幾分か氣遣つて、然うも言ふたが、揶揄も半分交つてゐた。

然うした理由で、源平は彌吉のところへ來ることに爲つたのであつた。

彌吉の棲んでゐる家は、六疊の一と間切りで、縁なしの安疊が敷かり、押入には節穴の多い板戸の立つた安普請ではあつたが、建築して間がなく、未だ木の香が失せなかつたので、割合に綺麗であつた。

臺所口に近いところに爐が切つてあつて、彌吉と源平とは、其爐邊に向ひ合ひに座つてゐた。

『なあお琴や。』と彌吉は、源平の本名を言つて、煙管の雁首を爐縁で叩いて、吸殼を落し、

『旦那があんなことに爲らないと、お前も俺も都合が可かつたがなあ。世の中といふものは、什麼も思ふやうに往かないものだ。』

『最う愚痴を言はないでおくれよ。言はれると尚ほ身體が惡るく爲るやうだからねえ。』とお琴は、柳のやうな眉を蹙めたが美人は隨時隨所に其美を發揮する。

『だつて言ひたくも爲るだらうぢやないか、旦那があんなことにならないと、お前は樂な身分に爲れたし、俺だつて樂が能きたのだからなあ。』

彌吉老爺は、沈んだ調子で言つて太い指先で烟草を丸める。

お琴は、彌吉老爺の愚痴を聞くのが厭やなやうな擧動であつたが、遂に釣り込まれて、

『旦那は金使ひが暴かつたから、内幕ゃ餘程無理を爲て居たんだねえ。』と其人の噂を爲出した。

『然うだなあ、何にせよ、此屋敷の普請ばかしでも一萬圓からかゝつてるからなあ。』

『それに鎌倉で、幾ら費消つたか知れやしないからねえ。』

『然う費消はせなけりや可かつたにさ。』

『幾ら費消はせまいと思つても、訴つて來ると仕様がなかつたんだからねえ。』

『其麼だつたかなあ。』

西洋料理 おいしい京城第一との高評を博し居り候 アイスクリーム 南大門通 電話二五七一番 カフエータイガー

金牌受領 登録商標 壽 玄米精乳 滋養飲料 京城北米倉町 電話二五四七 …○粗惡なる模造品あり御用心○…

□隨鷗吟社例會七言絶句

鷺○溪○滿○目○緑○緋○緋○ 柳○影○香○光○上○竹○簾○
一○樓○茶○煙○興○雲○濟○ 樊○川○詩○意○在○毫○尖○
絲○陰○芳○草○適○輕○杉○ 此○處○還○須○可○摘○成○
垂○柳○絲○長○池○畔○楊○ 醉○眠○何○管○日○西○銜○
四○園○新○樹○動○微○風○ 絕○愛○欄○邊○芍○藥○紅○
狹○蝶○多○情○飛○不○去○ 輕○衫○人○立○午○晴○中○
遊○魚○牽○餌○各○喩○喁○ 樹○影○搖○波○翠○色○濃○
日○斗○蒲○陰○天○近○正○ 池○頭○却○好○駐○吟○筇○
能○詩○誰○是○賈○長○江○ 爽○格○詞○章○豔○滑○腔○
山○寺○雲○春○春○已○盡○ 苦○吟○空○聽○午○時○鐘○
絕○愛○綠○陰○茶○熱○時○ 齋○風○細○細○裊○簾○垂○
思○詩○幾○度○回○頭○處○ 天○半○新○聲○是○子○規○

□筆乃友選會

扇閉ちて紙衾更まる法師かな　青丘
廣げたる扇なつかし去年の文字　華垣
小さなる扇持ち出す女かな　容堂
通夜人靜かに扇たゝみけり　竹水
壁の金を出す蕪湖や春の風　北青
燕さぶや傘さしかけて櫛鰈店　同
燕や指に尺りて買ふ草鞋　山民
花散るや兵の曳き行く傷み馬　同
泣きつゝも蝶見て居りし鮮氓哉　容堂
躑躅咲くや脊く古りたる靈池　同
行きつまる草家二軒に青田哉　古觀
燒跡に鳴く燕や蛍の月　同
翡翠や此頃澄みし崩れ池　青丘
日和暇に屋根草の丈や五月雨　同
石橋や燕とび交ふ傘の上　北城
百姓の出て行く門や燕とぶ　華垣
風のうなりに空仰ぐ僧の驗かな　よしと
列正しく濡れ戻る兵や雨燕　琴水
人力車乘せて渡すや雨燕　天米
窓に散る花や今日來し女子雇員　つな女
枕時計柱にかけて燕かな　翠月
燕や遲逐車附けて馬驅らし　竹水

新刊紹介

▲雄辯(六月號) 本號より一大刷新を加へ内容外形共に申分なき出來榮也、紀平正美氏の『聖者の出現』、在米茅原華山氏の『如何に新聞を讀むべきか』、加藤咄堂氏の『俗學の排斥』、江原素六氏の『復讐』を重要なる讀物とし金澤に於ける永井柳太郎氏の活躍振、文囊の準備『選擧演說の研究』横山勝太郎氏の『選擧演說の數期』、小崎弘道氏の『説教の双璧』其他演說研究の資料となるべき『身振の話』、式辭演說の模範『賀句と謝詞』等見るべきもの多し、特に本號より式辭演說の懸賞募集あり、雜誌橫議は例に依つて生氣躍動、帝大の井口孝親氏、一高の平野森太郎氏、曹洞宗中學の江田俊雄氏など雄篇を振ひ卷末大橋青波氏の歴史小説『蒼生塚』及び田山花袋氏の新小説『小さな舟』を掲げたり（三十錢本郷坂下町四八大日本雄辯會）

▲婦女界(婦人内職號) 現今家庭に於ける内職中最も有利なるもの十種を選び之に就て詳密なる實際的記事を揭げたるは内職を求むる婦人に取つて最良の手引たるべく名流の談話には内職は卑しむべきか『鳩山春子』、是からの婦人の覺悟『棚橋絢子』姙婦及び授乳婦の食料は何が良き乎『澤村博士』纏補及び癌腫の手當『吉田醫學士』を初め育兒、裁縫、染色、料理、園藝、美容等に關する記事滿載し、小說『世間』は非常に好評（十七錢東京牛込區市ヶ谷共社）

▲少女畫報(六月號) 池田輝方畫伯の插畫なる『勝鬨の下』を首め萩原菜氏の後援なる『若菜のかげ』、『百合咲實女』の二色寫眞版に宮殿下の寫眞、田中、高女校長、伊藤博士、陸田、手塚、加藤の名教授の益なる記事並に與謝野晶子、田村俊子及び寫眞小說『此の指環』其他面白き少女小說を滿載せり（十六錢東京麴町）

▲面白俱樂部(六月號) 『白狐物語』笹川臨風、『浮名竹』前田曙山、『勝鬨』竹の島人(笹里)其他（十二錢東京）

▲娛樂世界(六月特別號) 本號は諧談落語一流揃と題し都下の名人大家を網羅し各々得意のものを口演し又特別附錄として講談浪花節「原稿百五十枚」を卷末へ掲載し（十錢東京本郷區）

▲料理の友(六月號) 新時代の家庭生活法と今後の食料問題、夕飯の改良其他名家の說明は盆な馬鈴薯料理十種及び數十の料理法を滿載し挿畫を以て説明を加へ（金二十二錢東京市外上大崎中丸大日本料理研究會）

▲探偵雜誌(六月號) 十六錢東京麴町有樂町一ノ四 探之世界社

▲皮革世界(五月號) 價不明東京淺草吉野町一共社

▲南洋(五月號) 二十錢東京京橋南鍋町一ノ一共社

▲育兒通信(五月號) 十五錢東京小石川林町五七共社

▲文章俱樂部(六月號) 十錢東京牛込矢來町中の丸新潮社

▲實務雜誌文書(五月號) 十錢東京京橋南傳馬町一ノ一共會

▲少女新聞(二一) 二錢東京京橋弓町一東京社

▲婦人週報(三ノ二〇) 四錢五厘東京牛込市ケ谷田町二ノ一七共社

▲石油時報(五月號) 十五錢東京麻布龍土町六三共社

▲保險新聞(七ノ八) 九錢東京神田北神保町八共社

▲良友(五月號) 五錢東京麴町平河町五ノ三六共社

▲青年文壇(六月號) 十五錢東京牛込區神樂町一ノ一東亞堂雜誌部

▲才媛寶鑑(六月號) 十五錢東京牛込神樂町一ノ一東亞堂雜誌部

◉初夏のお化粧 青葉若葉に風薫り不自然な防寒をかなぐり捨てゝ袷の袂も輕く氣も輕い時季となつたが此の時季は凡ての生活が自然に近いだけ婦人の姿も一番美しく見ゆると同時に其の短所も亦た一層目立つ時季で從つてお化粧といふ事にも一層の注意が拂はれるが一般婦人界最近の傾向を調べて見るに彼の濃厚なけばけばしい厚化粧は次第に廢り有名なクラブ白粉本店で多年研究して居る清楚なゆかしい淡化粧が益々盛んになり白粉の如きも一番高價で美しい艶の出る日本名物のクラブ白粉が最も好評を博して居る近來いろいろな白粉が現はれるので好奇心から一時は其等を使つて見る者もあるが結局クラブに優る白粉はないと分つて何れも再びクラブ黨に落付く何様有名なクラブ洗粉本店の學者技師達が腕に撚りをかけて造つた優秀白粉だけにクラブ白粉は附けて高尚で非常に美しいのみならず洗つた後の生地の色までも白くなるといふ眞似の出來ない特長を有つて居るのだから各地共素晴らしい賣行で現に市內の信用ある化粧店で聞いて見ても白粉はクラブ全盛の有様であるさうだ

寫眞 寫眞出張撮影 寫眞銅版、亞鉛凸版 最も熟練せる技術を以て最も廉價に迅速と可睇を旨とし御高需に可應候 京城日報社寫眞製版部

商況

大阪株式相場

鐘紡	二七、二〇	一八、七五	一九、四五
東洋紡	二五二、二〇	一八、七九	一九、五〇
大阪商船	一七九、四〇	一八、四五	一九、二五
日本郵船	一三〇、〇〇	一八、五七	一九、三七

◎客月京城商況

…意外の好況に商賣歩々數からざるとの事…五十錢高を唱へ…からざるとの事 ▲大豆九圓五十錢にて出來たり…入荷に追ひ相當需用あるべき見込なりしも品種の爲め差したる荷動きを見せず…東洋方面へ輸出盛に仕向け底の爲め内地市場著しく活躍し來りて前途益々强硬の氣配を現し鮮内相場は…行き渉なしから一般商況不振なる情況を呈して越月せり今京城税關出張所の取扱ひに係る四月中輸出入總額を前年同期に對比する時は輸移出四千…餘圓を減少し輸移入に於ては十五萬餘圓の增加を示せり而して更に之を…

京日案内

▲申込は一回金二十錢 番外一回金五十錢 ▲六回以上の御申込は特に御相談 ▲御照會の節は必ず番號を御記入下さい

普通

◎活動寫眞巡業同志者求む 資金五十圓內外を要す 壽町三ノ四宿 山崎 55

◎內地紙袋專賣店 菓子店 衞生安全消毒袋 日鮮人數十名入用 製造元 京城明治町一丁目 51

◎ホインター 御通知の方へ 本町一丁目 電五四二 竹山律房 52

◎求人 帶本人來談但し市内相當の保證人を要す 京城 70

◎ミシン職工入用 平壤大和町 小野 19

◎內地人鮮人女數十名入用 製絲に經驗あるもの 京城並木町 21

◎ピアノオルガン 修繕賃貸 大和町 24

◎金融 本町 30

◎融通 大和町三ノ三 43

△萬年筆修繕と販賣は 75

番外

カバン製造並修繕 京城明治町二丁目 電話一八三三番 古鞄製造所 54

夏物大賣出 前單服 子供用服 販賣 陳列品 一圓五十錢より コドモヤ 旭町一丁目 電話本局三七九番 56

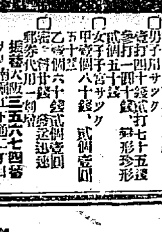
◎礦物定量分析 太平町二丁目 電話長一三四四 朝鮮公論社左横小路 坂元分析所 45

◎ほねつぎ 一切の治療御依頼に應ず 明治町 柔術道場 47

恩給年金即時立替 短期無保險取扱確實也 京城南大門外蓮池町 京義線沙里院 山口屋 廣川商店 60

花柳病專門 外科 ◎梅毒 ◎淋病 ◎泌尿生殖器病 ◎睾丸病 ◎肛門病 ◎皮膚病 婦人病 ◎神經衰弱 ヒステリー 京城南大門通農工銀行裏 司生堂醫院

▲各種萬年筆修繕▼ 振替口座京城三〇〇番 京城日報代理部



衛生必携 サック 豫防は治療に勝る! □男子用 □女子用 ...京城... エミヤ販賣部

けいを印 洗濯用 粉末石鹸 及石鹸原料販賣 製造法無料傳授 發賣元 大阪市西區土佐堀通三丁目 岸本商店 電話(土佐堀)六八五番 ◎小賣商の御注文は特に歡迎

好評如湧忽ち五版

青柳千代子著 最新刊 相思の炎 四六判洋裝美本 定價四拾錢 送料六錢

春本小よね著 最新刊 落籍さるるまで 四六判洋裝美本 定價卅八錢 送料六錢

近松傑作集

發兌 大阪 魁文堂 振替大阪 全國書店

內科 胃腸病 診察夜九時迄 京城 石川醫院 電話

醬油味噌界の霸王 キッコーリ醬油ほまれ味噌釀造元 (仁川港口日本醬油株式會社工場全景)

貯蓄預金 元金百圓ニ付日歩壹錢三厘 金壹錢以上何程ニテモ御預申候 株式會社長崎貯蓄銀行代理店 株式會社十八銀行京城支店 京城黃金町 電話四二〇番 振替貯金口座京城八一四番 同 龍山出張所 龍山元町二丁目 電話一八番 諸預金貸付爲替銀行一般ノ業務ハ猶々御便利ニ取扱可申候

最新刊 日本石油史 … 大阪屋號書店 京城本町一丁目

百圓進呈 りん病 ばい毒 帝國醫科大學院 京城

大阪有田 にせ物あり 他の類似品に販賣を不許 クラブ

金泉溫泉自動車 金泉織居自動車支部

共同汽船出帆 會下山丸 阿波共同汽船株式會社 仁川代理店 野口商會 京城取次店 河村運送店

朝鮮郵船出帆 本社 京城 電話長一九五二番

大阪商船出帆

日本郵船出帆

尼崎汽船出帆